

広報

いかに

2022年

9

No.369



特集

伊賀が生んだ美術の滑稽

画家 元永定正 生誕100年

掲載している催しは新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期する場合があります。
詳しくは、各問い合わせ先にご確認ください。

今月の納税

●納期限 9月30日(金)

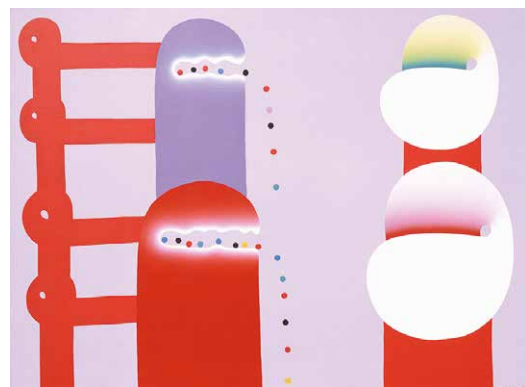
納期限内に納めましょう
国民健康保険税(3期)

今月の表紙は忍者市(上野市)駅を出発する伊賀線全線開通100周年記念ヘッドマークをつけた忍者列車

©松本零士/零時社



液体・赤 (1955 年)



べにべにむらさき (1984 年)

生誕100年 元永定正展

一寸さきは光～伊賀が生んだ美術の滑稽～

【と き】 10月1日(土)～31日(月)
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)
【ところ】 国史跡旧崇広堂
【料 金】 500円 ※高校生以下無料

○関連事業○

◆中辻悦子展「中辻悦子と元永定正 私は悦子」

【と き】 10月1日(土)～31日(月)
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)
【ところ】 赤井家住宅

◆元永紅子展—朱ト赤ト紅カラ生マレタ女ノ子—

【と き】 10月1日(土)～31日(月)
午前9時～午後4時30分 (火曜日定休)
【ところ】 入交家住宅
※中辻悦子さんは元永定正さんの妻、元永紅子さんは長女です。

◆くれない忌 ※事前申込制 対談 北川フラム×岡本栄「元永定正の●▲■」

【と き】 10月3日(月) 午後4時30分～6時
【ところ】 伊賀市文化会館
【出 演】 ○アートディレクター 北川 フラムさん
○伊賀市長 岡本 栄
同時開催：山下洋輔 PIANO CONCERT
午後6時45分～



伊賀が生んだ
美術の滑稽
画家 元永定正
生誕100年

【問い合わせ】 文化振興課
☎ 22・9621 FAX 22・9619
✉ bunka@city.iga.lg.jp



今年、元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

今年、元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

今年、元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

今年、元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

今年、元永定正さん生誕100年の年です。それを記念して元永定正展を開催します。書家・榊莫山さんのコラボレーション作品や伊賀上野城を描いた作品など伊賀にゆかりのある作品も展示します。この機会にぜひ、元永定正作品の魅力に触れてください。

元永定正さんは、1922年、旧阿山郡上野町（現・伊賀市）に生まれました。上野商業学校（現上野白鳳高校）卒業後は漫画家を志しましたが、古里で洋画家、濱邊萬吉さんと出会い、裸婦や風景などの具象画を描くようになりました。1952年、30歳の時に神戸市に移り、当時、芦屋市展に出品されていた抽象画を見て刺激を受け、六甲山の夜景から想を得た抽象作品などの制作を始めました。1955年、吉原治良さんが主宰する



「誇れる伊賀市」「選ばれる伊賀市」の実現に向けて

I G A B I T O 育成プロジェクト

I G A B I T O 育成プロジェクト

市では伊賀市で生まれ育った若者の「住みたい」「帰ってきたい」という思いを育み、進学や就職を機に転出した若者のUターンと市への定住の促進をめざして、I G A B I T O 育成プロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトは自らが地域の担い手となり、より良い「伊賀」を創る意識、実行力を持った若者を「I G A B I T O」と定義して、I G A B I T Oに必要な「意欲」「知識」「実行力」を育むため、伊賀市若者会議の取り組みや、市内の県立高校3校との連携プロジェクトを行っています。

伊賀市若者会議

伊賀市若者会議は、I G A B I T Oを発掘し育てることを目的に、市内在住・在勤者や出身者など伊賀市にゆかりのある若者を対象として平成30年度に発足したグループです。任期は2年間で、今年度からは第3期として10代～30代の36人が活動

しています。7月2日(土)には第3期キックオフミーティングが開催され、本格的に第3期若者会議の活動がスタートしました。

キックオフミーティングでは、メンバーで今期の若者会議のスローガンについて話し合い「それぞれの色を組み、人と人とを結び伊賀市若者会議」に決定しました。

また、伊賀市若者会議では、魅力ある伊賀市づくりをめざしてさまざまな個別プロジェクトを立ち上げていて、SNSを通じて市内事業者を応援したり、子育て世代に向けた情報発信や農業体験を通じた農業の魅力発信などの活動をしています。



- ①伊賀白鳳高等学校
- ②上野高等学校
- ③あけぼの学園高等学校
- ④伊賀市若者会議キックオフの様子
- ⑤伊賀市若者会議個別プロジェクト

高校との連携

◆地域と連携したキャリア教育 (あけぼの学園高等学校)

あけぼの学園高等学校では、これまで市と協力しながら、各学年や総合学科の系列の授業などで、「地域と連携したキャリア教育」に取り組んできました。

1年次生では、「産業社会と人間」の授業における「地域の職業人の講演」や、秋に実施する地域の企業・事業所をめぐるフィールドワークにより「地域を知る」ことから始まります。

2年次生では、地域の企業・事業所の協力をいただき、インターンシップを通して、自分自身のキャリアについて考えていきます。

3年次生では、課題研究で「地域課題」などについての解決策を提案する活動を行う予定です。

また、系列の授業では、伊賀の地元食材を活用したレシピの考案なども予定しています。これらの活動を通して、自らが地域の担い手となる意識を醸成していきます。



◆専門学科の特色を生かした 地域とのつながり (伊賀白鳳高等学校)

伊賀白鳳高等学校は、「地域の学校として、地域の子どもたちを、地域で活躍できる人材に育成する」とことをめざしています。

生徒が地域のことを学び、考え、活動する取り組みとして、工業学科では、ものづくりで地域の課題を解決するための企画提案や、製品の作製や修繕を行います。

農業学科では、地域の環境保全活動を行うとともに、これからの農業の生産管理の重要性を発信します。また、地域の食材を生かしたお菓子の開発やふるまい、地域のレンタルキッチンスペースなどを利用したカフェの運営などを通して、製菓の魅力発信や地域へのサービスの提供を行います。

福祉学科では、非常時に備えて救急法を習得します。また、地域の園児や高齢者などとの花の寄せ植え教室などを通じて交流を行います。



◆上高みらい探究 (上野高等学校)

1年生では、教育実習生インタビューなど、探究的な学びの基礎となる経験を積みながら、Chromebook(学習端末)を活用して下調べや事前学習を行い、主に伊賀地域に関するテーマを設定します。その後、フィールドワークなどで現地の取材を行い、ポスターセッションにつなげます。

2年生では、1年次に広げた地域に関する知見をさらに深掘りし、地域課題や先行事例を調べたうえで、伊賀市など関係機関と連携した「地域プロジェクト」などの探究活動に取り組めます。

3年生では、社会人として必要な知識や情報を学び、自己実現に向けての具体的方法を検討し、未来への決意表明をする探究的活動に取り組めます。



伊賀市若者会議と高校生が コラボしました

昨年度、地域で活躍する高校生を応援するため、伊賀市若者会議の個別プロジェクト「#いがまるエール」が高校生の活動を取材しました。

Instagramで紹介していますので、ぜひご覧ください。



【問い合わせ】

地域創生課
22・9623 FAX 22・9672
chisou@city.iga.lg.jp



集団がん検診・若年者健診（後期分） 国民健康保険 集団特定健康診査

《対象者》 検診日に市内に住民票がある人で、6ページの表の対象年齢に該当する人
 ※同一年度内に同じ種類の検診は受けられません。
 ※乳がん検診についてはマンモグラフィと超音波検査の併用はできません。
 ※現在すでに気になる症状がある場合は、この検診を受けずにまず医療機関を受診してください。

★9月9日(金)から順次予約受付を開始します

予約電話 ☎ 22-9653 (平日 午前8時30分～午後5時15分)

予約時に次の項目をお聞きします。①検診希望日 ②希望検診名 ③住所 ④氏名 ⑤生年月日 ⑥電話番号

※受付方法は電話予約のみです。

(聴覚障がい電話での申し込みが困難な人は、来所、ファックスなどでも受け付けます。ファックスの場合は、上記①～⑥、聴覚障がいであることと返信用ファックス番号を記載してください。)

※予約の受付開始日の朝は電話が集中してかかりにくい場合があります。しばらくしておかけなおしてください。

※定員になり次第締め切ります。

受付開始日	と き		ところ	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がんマンモ	若年者健診	国保特定
9月9日(金)	10月29日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●	●
	10月30日(日)	9:00～11:30	青山福祉センター	●	●	●	●	●	●	●
9月21日(水)	11月4日(金)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●	●
	11月6日(日)	9:30～11:30	伊賀市役所	●	●	●	●	●	●	●
9月29日(木)	11月17日(木)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●	●	●	●	●	●
	11月19日(土)	9:00～11:30	いがまち保健福祉センター	●	●	●	●	●	●	●
	11月27日(日)	9:00～11:30	阿山支所	●	●	●	●	●	●	●
10月4日(火)	12月2日(金)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター		●		●	●		
	12月10日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●		●	●		
10月12日(水)	令和5年3月11日(土)	9:30～11:30	ゆめぼりすセンター	●	●		●	●		

《女性のための検診日》(託児あり)

10月19日(水)のみ実施し、インターネット予約限定となります。右の二次元コードよりお申し込みください。

※インターネットでの申し込みが難しい人は電話でも対応しています。

受付開始日	と き		ところ	大腸がん	子宮がん	乳がん(超音波)
9月9日(金)	10月19日(水)	9:00～11:30	ハイトピア伊賀4階	●	●	●
		13:30～15:00		●	●	●



検診名	対象年齢	自己負担金	
		74歳以下	75歳以上
胃がん検診(レントゲン検査)	20歳以上(平成15年4月1日以前生まれ)	1,800円	800円
大腸がん検診(2日分の採便検査)	20歳以上(平成15年4月1日以前生まれ)	800円	500円
前立腺がん検診(血液検査)	50歳以上の男性(昭和48年4月1日以前生まれ)	800円	500円
子宮がん検診(子宮けい部細胞の採取と視診)	20歳以上の女性(平成15年4月1日以前生まれ)	1,400円	500円
	20歳(平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ)の人は無料		
乳がん検診	マンモグラフィ	30歳以上の女性(平成5年4月1日以前生まれ)	1,600円
	超音波(エコー)	30～39歳の女性(昭和58年4月2日～平成5年4月1日生まれ) 40歳以上で妊娠中・授乳中・断乳後1年未満の女性	1,600円
		40歳(昭和56年4月2日～昭和57年4月1日生まれ)の人は無料	
若年者健診(血液検査・心電図・尿検査など)	20～39歳(昭和58年4月1日～平成15年4月1日生まれ)	3,400円	

《がん検診自己負担金について》

※「75歳以上」に該当する人は、昭和23年4月1日以前に生まれた人です。

※次の人は自己負担金が表の金額と異なります。該当する人は予約時にお伝えいただき、検診日に受付で証明するものを提示してください。

- 65歳以上で一定の障がいがあり、後期高齢者医療被保険者証をお持ちの人：75歳以上の自己負担金と同額
- 生活保護受給証明書をお持ちの人：無料

《受診の同意について》

検診の安全性を確保し、精度を管理するため、問診票・検診結果(精密検査含む)は市が管理することに同意の上、受診してください。

【問い合わせ】 健康推進課
 ☎ 22-9653 FAX 22-9666
 ✉ kenkousuishin@city.iga.lg.jp



伊賀市国民健康保険 集団特定健康診査

集団がん検診と同時に受診できます。日程は7ページの表をご覧ください。

【対象者】 40～74歳(昭和22年9月1日～昭和58年3月31日生まれ)

【自己負担金】 無料

【検診内容】 身体測定、尿検査、血液検査、貧血検査、心電図、診察など

【持ち物】 受診券、健康保険証、受診前チェックリスト

○いずれも事前申し込みが必要です。事前申し込みは、健康推進課(☎22-9653)で受け付けます。

○各会場とも定員になり次第締め切ります。

○受診券を紛失した場合は再発行しますので、ご連絡ください。

○7月以降に医療機関で国民健康保険特定健診、脳ドック・簡易人間ドックを受診した人は、受診できません。

【問い合わせ】 保険年金課
 ☎ 22-9659 FAX 26-0151
 ✉ hoken@city.iga.lg.jp



令和5年度 幼稚園・認定こども園（幼稚園） 来春4月からの入園児を募集します

【問い合わせ】 保育幼稚園課 ☎ 22-9655 FAX 22-9646 ✉ hoyou@city.iga.lg.jp



		〈公立幼稚園〉 桃青の丘幼稚園	〈私立幼稚園〉 白鳳幼稚園	〈私立認定こども園〉 認定こども園 青山よさみ幼稚園
対象 児童	3歳児	2019（平成31）年4月2日～2020（令和2）年4月1日生まれ		
	4歳児	2018（平成30）年4月2日～2019（平成31）年4月1日生まれ		
	5歳児	2017（平成29）年4月2日～2018（平成30）年4月1日生まれ		
募集 人数	3歳児	40人	16人 満3歳児：11人 ※満3歳児は3歳の誕生日の翌 月から入園できます。	20人
	4歳児	若干名	若干名	若干名
	5歳児	若干名	若干名	若干名
申込方法		園にある入園願書に必要事項を記入の上、提出してください。		
申込期間 ※いずれも 土・日曜 日、祝日 を除く。		9月12日（月）～10月28日（金） 午前8時30分～午後5時 ※先着順	9月16日（金） 午前8時30分～ ※先着順	10月3日（月） 午前9時～ ※先着順 ※青山よさみ幼稚園ぴよぴよラ ンド（未就園児対象）に一度 も参加したことがない人は、 園に連絡の上、9月中旬に園の 見学をお願いします。
預かり保育 の実施時間		通常時：午後2時～4時30分 長期休暇時： 午前8時30分～午後4時30分	通常時： 午前8時～保育開始時間、 保育終了後～午後6時 長期休暇時： 午前8時～午後6時	通常時：午後3時～6時30分 長期休暇・特別保育 （春・夏・冬休み期間など） 月～金曜日 午前8時30分～午後6時30分 土曜日 午前8時30分～午後3時
申込先・ 問い合わせ		桃青の丘幼稚園 （上野丸之内177-1） ☎ 26-5770	白鳳幼稚園 （上野伊予町1067-1） ☎ 21-0091	認定こども園青山よさみ幼稚園 （柏尾1397-14） ☎ 52-0433

※幼児教育・保育の無償化により毎月の幼稚園利用料は無償です。ただし、通園送迎費、給食費、行事費などは無償化の対象となりません。年収360万円未満相当の世帯の児童と第3子以降の児童は、給食費のうち副食（おかず・おやつなど）の費用が免除されます。

※入園料、その他諸費が別途必要です。（桃青の丘幼稚園は入園料無料）

※預かり保育の利用料は、3歳から5歳児（満3歳児を含む）の子どもが対象で、保育の必要性の認定を受けた人は無償（償還払い）です。

保育所（園）・認定こども園（保育所部分）の募集は10月中旬からを予定しています。
詳しくは、広報いが10月号でお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策情報

新型コロナウイルスに関する お知らせ

家計急変世帯への給付金申請期限

令和4年1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入減少により住民税均等割非課税世帯と同様の事情があると認められる世帯は、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を受けることができる場合があります。受給するには申請が必要です。まずはお問い合わせください。

※令和3または4年度の非課税世帯分、もしくは家計急変世帯分のいずれかを受給した世帯、または当該世帯の世帯主であった人を含む世帯は除く。

【申請期限】 9月30日（金）

【申請先・問い合わせ】 生活支援課

☎ 22-9674 FAX 22-9661

✉ shien@city.iga.lg.jp



「新型コロナワクチン証明書アプリ」 画像保存機能の追加

窓口交付と同じ様式の接種証明書を、アプリ上で取得し画像保存できるようになりました。

保存した画像をコンビニなどのコピー機で印刷をすることで、接種証明書としてご利用いただけます。なお、画像保存機能は自動的に反映されませんので、アプリのアップデートと接種証明書の再取得が必要です。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

ワクチン接種推進課 ☎ 41-1550 FAX 22-9694



【ワクチン接種に関する問い合わせ】

○伊賀市新型コロナワクチン専用コールセンター
（月～土曜日、午前8時30分～午後5時）

☎ 0120-849-064

○外国語での問い合わせ

（月・水・土曜日、午前8時30分～午後5時）

・ポルトガル語 ☎ 0120-257-863

・スペイン語 ☎ 0120-257-864

◎三重県新型コロナウィルスワクチン副反応相談窓口
（24時間対応、土・日曜日、祝日含む）

☎ 059-224-3326

新型コロナウイルス感染症予防接種証明書の コンビニ交付

8月中旬よりマイナンバーカードをお持ちの人は、全国の利用可能なコンビニエンスストアの店舗内にあるマルチコピー機で書面のワクチン接種証明書を取得できるようになりました。※7月14日現在の情報です。

【利用できる時間】 午前6時30分～午後11時

※土・日曜日、祝日を含む。

【発行料】 証明書1通あたり120円

従来の申請のように市の窓口へ出向いたり、郵送での申請が必要なく、窓口の受付時間外でも交付ができます。土日に急に必要になった場合や、スマートフォンをお持ちでない人も利用できます。

ただし、海外用の接種証明書のコンビニ交付には7月21日以降にパスポート番号などの情報が、市の接種記録システム（VRS）に記録されている必要があります。利用する人は、事前に市の窓口やアプリで交付申請を行いパスポート情報の登録を必ず行ってください。

新型コロナウイルスワクチンの接種は、市民の皆さんに受けていただくようご案内していますが、強制するものではありません。「感染症予防の効果」と「副反応のリスク」の双方を理解した上で、接種を受けるかどうかの判断をしてください。

また、職場や周りの人などへの接種の強制や、接種を受けていない人への偏見や差別につながる行為、人権侵害、誹謗中傷などは絶対に行わないでください。



コロナ差別に関する人権相談窓口



一人で悩まないで大丈夫
一緒に考えましょう。



【問い合わせ】

○津地方法務局人権相談 ☎ 0570-003-110

○人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641

✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

「救急の日」「救急医療週間」をきっかけに

みんなで救急医療を考えましょう

◆「救急の日」と「救急医療週間」

市民の皆さんに救急医療と救急業務に対する正しい理解と認識をもたせたいとともに、救急医療関係者の意識を高めるため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間（今年は9月4日（日）～10日（土））を「救急医療週間」と定めています。

この機会に、救急医療や119番通報などの緊急時の対応を考えてみましょう。



◆救急車・救急医療の適正利用

救急車は適正に利用しましょう



近年、全国的に救急車の出動件数・搬送人員はともに増えており、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。また、救急搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症患者です。

救急医療体制を維持するには、救急車や救急医療を適正にご利用いただくという市民の皆さん一人ひとりの協力が必要です。救急医療は、あくまで緊急事態に備えるため、限られた医療スタッフで診療を行っていますので、緊急時以外は通常の診療時間内の受診を心がけましょう。

電話相談窓口をご利用ください

「救急車を呼ぶかどうか迷っている場合」や「どこの病院に行けばよいかわからない場合」などは、次の電話相談窓口を設けていますので、ぜひ利用してください。

◆伊賀市救急・健康相談ダイヤル24

☎0120・4199・22
（24時間年中無休）

病気やけがなどで救急車を呼ぶか迷っているときの相談をはじめ、心と体のさまざまな相談に応じます。

お受けできる相談は次のとおりです。

【医師にかかる前】

- 受診の目安
- 受診科目の選択
- 希望地域などの情報
- 【健康づくり】
- 健康のための栄養・食事
- 適切な運動
- 禁煙・禁酒のコツ
- ダイエットの悩み

【健康管理】

- 健診の内容
- 健診結果の見方
- 基準値を外れたときに注意すること

【身体症状・対処】

- 予防接種の種類や接種時期
- 身体症状の不安
- 症状に応じたケア
- 薬の種類・飲み方・副作用
- 緊急時の応急処置
- 【妊娠・出産・育児】
- 妊娠・分娩
- 妊娠中・出産後の生活
- 乳幼児の食事（授乳・離乳食など）
- 育児の悩み（夜泣きなど）

【メンタルヘルス】

- 心の悩み（職場の対人関係など）
- 不眠
- ストレスへの対処法
- ストレスによる身体症状
- 【家庭内介護】
- 看護・介護の方法
- 介護サービスの種類・内容
- 介護施設情報
- 介護疲れ

◆「救命の連鎖」と市民の役割

生命の危機に陥った命を救済し、社会復帰させるために必要となる一連の行動と処置を「救命の連鎖」といいます。「救命の連鎖」を構成する4つの輪がすばやくつながると救命効果が高まります。

「救命の連鎖」における最初の3つの輪は、119番通報で駆け付けける救急隊が処置を開始するよりも前に現場に居合わせた市民の皆さんによって行われることで、傷病者の生存率や社会復帰率が高くなります。市民の皆さんは「救命の連鎖」を支える重要な役割を担っているのです。

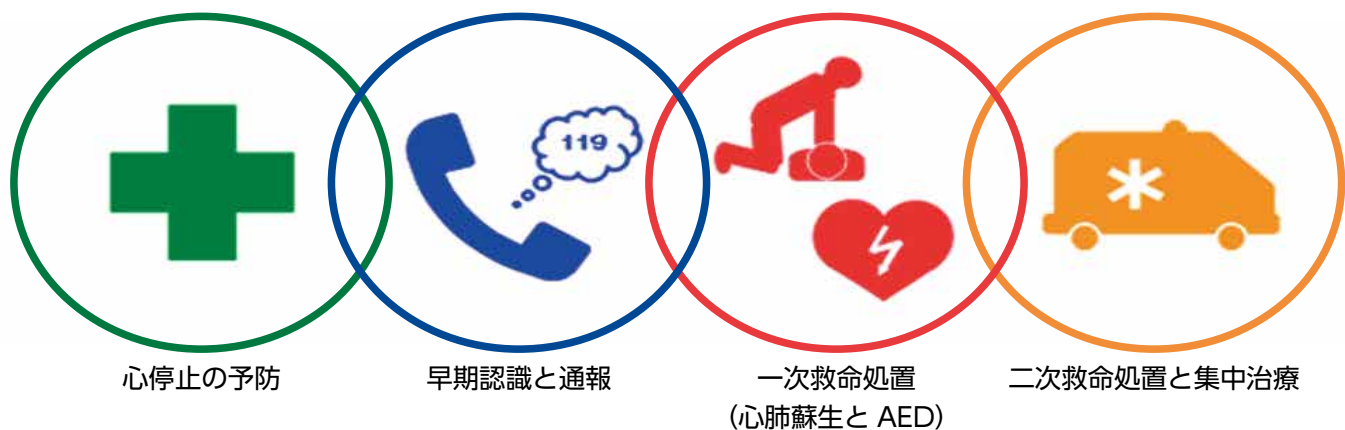
◆「応急手当講習」の受講を

目の前で大切なひとが、あるいは、たまたま隣り合わせた人が倒れてしまったとき、あなたは手を差し伸べることはできますか。

特別な資格がなくても、誰でも行えるのが応急手当です。簡単に効果の高い応急手当を身につけるために応急手当講習を積極的に受講してください。



消防本部では、応急手当講習を随時開催しています。受講を希望する人は、伊賀消防署管理課までお問い合わせください。



◆みえ子ども医療ダイヤル ☎8000

（毎日 午後7時30分～翌朝8時）
子どもの急な病気や事故、薬に関することについて、医療関係の専門相談員が電話による相談に応じます。内容についての秘密は守られますので、安心してご相談ください。

※18歳未満の子どもとその家族が対象です。

※ダイヤル式、ひかり電話、IP電話などで繋がらない場合
☎059・232・9955



◆医療ネットみえ (救急医療情報センター)

☎059・229・1199
（24時間年中無休）

救急車を呼ぶほどではないが、ケガや急病でどうしてもすぐに診察を受けたい場合に、受診可能な医療機関をコールセンターなどで案内しています。

※案内を受けた医療機関には必ず電話をしてから受診してください。

※受診の必要がなくなった場合は、医療機関にその連絡をしてください。

※コールセンターに電話が繋がりにくい場合は、「医療ネットみえ」のホームページをご利用ください。

○ 医療ネットみえ

<http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>



【問い合わせ】

○伊賀消防署管理課
☎24・9120 FAX 24・9111
☎22・9705 FAX 22・9673
✉kanri-td@city.iga.lg.jp
✉inyoufukush@city.iga.lg.jp



9月は「世界アルツハイマー月間」です

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

皆さんは、「認知症」にどんな症状があるか知っていますか？また、「認知症」にどんなイメージを持っていますか？

認知症は、加齢とともに増える脳の病気です。日本では、65歳以上の高齢者のうち、認知症の人の数は600万人（令和2年現在）と推計されています。令和7年には約700万人、およそ高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。身近な病気のひとつとして、認知症について学んでみませんか。

「世界アルツハイマー月間」に合わせて、いろいろな「学び場」を設置しています。この機会にぜひご利用ください。

学び場①

「上野図書館特設コーナー」

9月のテーマは「認知症」



◆認知症の人の症状や気持ちを知る

○『ボクはやつと認知症のことがわかった』 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言
長谷川和夫著 猪熊律子著
これまで何千人もの患者を診てきた認知症の専門医は、認知症になつて何を思い、どう感じているのか。自身の半生や生き方、日本の認知症の歴史に触れながら、日本人に伝えたい「遺言」を語る。『読売新聞』連載を加筆し書籍化。

○『丹野智文笑顔で生きる』

認知症とともに 丹野智文著
39歳で若年性アルツハイマー病になったトップ営業マン。選んだ

のは認知症を悔やむのではなく、認知症とともに生きるという道。家族、会社、仲間たち…。笑顔をとり戻すまでのドキュメント。

○『認知症世界の歩き方』

認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？

寛裕介著

認知症未来共創ハブが監修 乗るとだんだん記憶をなくすミステリーバス、距離も方角もわからなくなる二次元銀座商店街…。認知症のある人が経験する出来事を「旅のスケッチ」と「旅行記」の形式にまとめ、だれもが身近に感じるストーリーで紹介する。

◆認知症の人が暮らしやすい

地域社会を知る

○『認知症フレンドリー社会』

徳田雄人著

超高齢社会では認知症の人が多くなるという。ならば社会を、認知症の人も普通に暮らせるものに変えてみるのはどうだろう。英国での画期的な実践や日本全国の先進的な地域を紹介し、認知症の人が暮らしやすい仕組みを提言する。

○『注文をまちがえる料理店』 忘れちゃったけど まちがえちゃったけど まあいいか 小国士朗著

まちがえることを受け入れて、まちがえることを一緒に楽しむ。2017年6月に2日間限定でオープンした認知症を抱える人が接客をするレストランで、本当にあつたものがたりを紹介。企画の発起人である著者の解説も掲載。

◆子どもと一緒に認知症を学ぶ

○『マンガニンシショウ大使れも参上！』 知ってる？ 認知症 高橋由為子作・マンガ 菊地蔵乃介解説・監修

○『だいじょうぶだよ』 ぼくのおばあちゃん 長谷川和夫著 池田げんえい著

※図書紹介文は「株式会社図書館流通センター新刊全点案内」より引用しています。

特設コーナーに設置している図書の一部です。他にも多数の蔵書があります。

学び場②

「認知症サポーター養成講座」

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。養成講座では、認知症の症状や対応方法について、講話や寸劇を通して学ぶことができます。



受講生募集！

【とき】 10月8日(土) 午後2時～3時30分
【ところ】 ゆめぼりすセンター2階
【講師】 キャラバン・メイトいが
【定員】 先着30人
【申込開始日】 9月12日(月)

【申込先・問合せ】

地域包括支援センター

南部サテライト

☎ 52・2715

FAX 52・2281



「キャラバン・メイトいが」は、認知症になつてもお互いに支え合い、寄り添いながら生活できるまちをめざす地域のボランティア団体です。

10名以上の団体（企業・地域など）に対して、随時、認知症サポーター養成講座を実施しています。詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



講座修了後、認知症サポーターの証として「オレンジリング」（左）、または「認知症サポーターカード」をお渡します。

学び場③

「アルツハイマー月間パネル展示」

認知症の種類や症状、参考図書、伊賀市内で実施している認知症カフェなどをパネルで紹介します。

【とき】 9月20日(火)～30日(金)

開庁時間内（閉庁日除く）

【ところ】 本庁舎 1階ロビー



にんサボくん

予告

【認知症講演会】

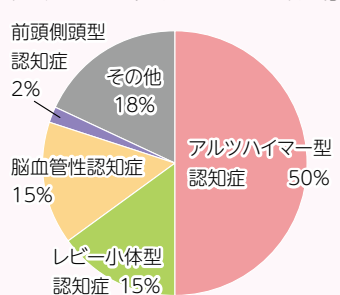
11月13日(日)午後2時～3時30分
サンピア伊賀で開催予定
詳しくは広報いが10月号をご覧ください

コラム

認知症とアルツハイマー

「アルツハイマー」は認知症を引き起こす主な病気のひとつです。

「認知症を引き起こす主な病気」



※「認知症サポーター養成講座標準教材」を参考に作成

円グラフのように、認知症の原因となる病気は複数あります。認知症の主な症状は「もの忘れ」ですが、原因となる病気によって現れる症状も異なります。見えないものが見える「幻視」や、人格の変化が起こる病気もあります。

人にはそれぞれ個性があるように、認知症の原因も症状も人それぞれです。認知症の人の「共生」社会を生きるために、みんなで認知症について学びま

【問い合わせ】

地域包括支援センター

☎ 26・1521

FAX 24・7511

✉ houkatsu-shien@city.iga.g.jp



これまでの活動とこれからと

地域おこし協力隊

現在、市には2人の地域おこし協力隊員が島ヶ原地域と阿波地域で活躍しています。今年10月末で西村隊員が卒業を迎え、菅生隊員も、卒業まで残すところ1年を切りました。地域の活性化のために尽力してきた2人のこれまでの活動を振り返るとともに、今後に向けて奮闘している姿を紹介します。

〈島ヶ原〉西村 英里奈隊員
(令和元年11月着任)



◆これまでの活動・成果

- ①有機無農薬の野菜作り
有機無農薬にこだわってにんじんを栽培しています。
品種にもこだわり、甘みが強くフルーティーですっきりした味が特徴です。
- ②にんじんジュースの商品開発、販路の確保
農業経験ゼロから栽培方法を学び、試行錯誤しながらにんじんの



ジュースにたどり着きました。
その過程でも、食品衛生法、加工所探し、販路、デザインなど、ジュース一つ作るのに消費者では見えなかった課題がいろいろあって、それを解決していくのに苦労しました。
写真は試作品のジュースです。多くの人に支えられてやっと商品化できるところまでもってこられたので、その過程も大事にしながら商品作りをしていきたいです。完成を楽しみにしていてください。



- ③にんじんの搾りかすの活用
にんじんジュースの製造過程で出た搾りかすの有効活用のため、ドレッシングやパウンドケーキを考案しました。



◆今後の展望

退任後も伊賀市に定住する予定です。自分のペースで商品作りながら、ジュースだけでなく一次産業から六次産業までのものづくりに関わっていきたいと思っています。

〈阿波〉菅生 文佳隊員
(令和2年7月着任)



◆これまでの活動・成果

- ①ICTを活用したわな管理
餌やりや草刈りを定期的に行って管理し、センサーが反応したらスマートフォンを確認しながらシカの捕獲や観察をしています。



②集落檻の勉強会

令和3年の夏に集落檻を設置し、以来月1回の勉強会を実施しています。地域の皆さんの協力のもとシカ3頭の捕獲に成功しました。



③自治協の活動に参加

自治協の活動にも積極的に参加しています。草刈りは大切な獣害対策の一つです。

◆今後の展望

着任して2年が経ち、残りわずかとなりました。これまでシカの捕獲を中心に獣害対策を行い、少しずつシカが減っていると実感している一方、そうではない集落もあります。そのため、集落ごとに獣害と向き合うための捕獲体制を築けるよう努めたいと思います。

新たな学びを始めてみませんか

地域出前講座のご案内

各地区市民センターなどに在籍している生涯学習支援員が地域の身近な場所を活用してさまざまな生涯学習講座を企画し、運営する地域出前講座を開催します。年間講座のうち今回は前期講座の参加者を募集します。

◆初めてのフラダンス教室

笑顔でフラを。そして身も心も美しく。

【とき】10月9日(日)
午後3時～4時30分

【ところ】

長田地区市民センター

【講師】

フラオ ナプア レイクワイ
冨森 小夜子さん

【定員】20人

(市内在住・在勤の中学生以上)

【申込期限】9月22日(木)



◆健康太極拳

日本で最も早い時期から普及した「楊名時八段錦・太極拳」が体験できます。

【とき】10月27日(木)
午後1時30分～3時

【ところ】

桐ヶ丘アミティ 大ホール

【講師】楊名時太極拳師範

杉本 洋子さん

【定員】15人

(市内在住・在勤の18歳以上の人)

【申込期限】9月30日(金)

◆陽夫多神社裏山の古墳と山城を歩く

歴史を学びながら古墳散策を楽しみませんか。

【とき】11月3日(木)祝
午前10時～正午

【ところ】

阿山保健福祉センターホール、
現地散策

【講師】語り部 藤井 尚登さん

【定員】20人(小学生以上)

※小学生は保護者同伴

【申込期限】9月30日(金)

◆はじめての

ヨーガセラピー講座

伝統的なヨーガ技法をもとにした健康促進運動です。

【とき】11月9日(木)
午前10時～11時30分

【ところ】

西柘植地区市民センター
小ホール

【講師】

ヨーガ療法士 福森 麻美さん

【定員】20人

(市内在住・在勤の18歳以上の人)

【申込期限】10月7日(金)

◆シニア向け

スマートフォン教室

基本から使い方を学びます。スマートフォンでの購入を検討されているシニア向けの教室です。

【とき】11月9日(木)
午後1時30分～3時30分

【ところ】

阿保地区市民センター

【講師】KDDI(株)認定講師

【定員】20人

【申込期限】9月30日(金)

◆園芸教室

植物に関するお話と寄せ植えの教室です。

【とき】12月10日(土)
午後1時30分～3時

【ところ】

島ヶ原会館 ふれあいホール

【講師】奥 隆善さん

【定員】30人

【料金】1人1500円

【申込期限】11月10日(木)



【申込方法】

生涯学習課または各地区市民センターにある申込書に必要事項を記入の上、生涯学習課まで。市ホームページ、電話、ファックスでも受け付けます。

※応募者多数の場合は抽選し、結果を全員に通知します。



✉chisou@city.iga.lg.jp

【問い合わせ】
○島ヶ原支所 ☎59・2053 FAX 59・3196
○大山田支所 ☎47・1150 FAX 46・0135
○地域創生課 ☎22・9680 FAX 22・9672

婚活マッチングイベントin伊賀

◆素敵な出会いに つながりますように

市では、三重県が開設する「みえ出逢いサポートセンター」と連携し、「結婚を希望する人」をサポートするための婚活マッチングイベントを開催します。イベントは対象年齢別に2日間開催します。当日は、異性の参加者一人ひとりとお話を楽しんだあとマッチングを行います。

【とき】

○27～35歳対象
10月1日出

午後2時～4時
(受付：午後1時45分～)

○36～42歳対象
10月2日出

午前10時～正午
(受付：午前9時45分～)

【会場】 ハイピア伊賀
5階学習室2

※参加確定後、駐車場を案内します。

【内容】

- ①受付
- ②プロフィールシートを交換し
てのトーク
- ③マッチングカード提出
- ④カップル成立

【対象者】

結婚を希望する独身の人で、伊賀市、津市、松阪市、名張市、明和町に在住・在勤の人、またはこの地域での出会いに興味のある人

【定員】 16人程度

※男女数は均等になるよう調整します。

※最終的な参加の可否は抽選

【応募方法】

次の二次元コードから申し込んでください。また、市ホームページからも申し込みできます。



【応募期限】 9月25日(日)



【問い合わせ】 ○みえ出逢いサポートセンター ☎059-355-1322 ※不定休、午前10時～午後6時
○こども未来課 ☎22-9654 FAX 22-9646



大地震に備えよう

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」と定められ、災害に対する認識を新たにする機会です。

今後30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は70～80%と予測されています。コロナ禍の今、巨大地震が発生する前に感染防止対策を含めた備えを確認しましょう。

◆南海トラフ巨大地震による 伊賀市への被害は？

想定される中で最も大きな規模の地震が発生すると、全国で約32万人、県内でも5万3千人が死亡する被害が予測されています。伊賀市でも、市内のほぼ全域で震度6弱の地震が発生し、約1900棟の建物が全壊、100人近い死者、1000人を超える重軽傷者が発生すると推計されています。

◆コロナ禍における避難生活

大地震が起こると新型コロナウイルスなどの感染が心配でも、避難所で避難生活をするようになるかもしれません。3密による感染リスクや、健康不安など、避難者全員が協力して乗り越えることも多くなります。

日頃からの備えで
被害を最小限に

- 家具などの転倒防止、家の耐震対策など安全を確保しよう。
- 家族同士の安否確認方法など、家族で決めておこう。
- 日頃からハザードマップなどで、避難場所や危険場所の確認をしよう。
- 非常用品の備えにマスクや消毒液を加え、感染症対策も万全にしよう。
- ローリングストック^{*}を活用し1週間程度の備蓄食糧を確保しよう。
- 感染症対策を取り入れた、地域の防災訓練に積極的に参加しよう。



^{*}食べ物や日用品を少し多めに購入し、日常生活で古いものから順に消費し、食べた分を買い足し、補充しながら備蓄していく方法。

【問い合わせ】 防災危機対策局 ☎22-9640 FAX 24-0444 ✉kikikanri@city.iga.lg.jp



9月20日から26日まで動物愛護週間です

人と動物が安全・快適に共生できる社会に向けて

「飼わない」「ことも動物への愛情です」動物を飼う前に考えよう

身近なペットである犬や猫は10年以上生きる動物です。ペットを最後まで飼うことができるか、飼う前に考えてみましょう。

ポイント①

手間やお金をかけられますか？

動物の世話は1日も欠かさず毎日する必要があります。また、動物が寿命を終えるまで、エサ代はもちろんですが、病気の予防や治療に費用もかかります。

さらに犬は7歳前後、猫は10歳前後から高齢期と言われています。高齢になるにつれ、介護が必要になってくることを想定して、心構えと準備しておくことが大切です。

ポイント②

動物を幸せにできますか？

動物に合った、安全で快適な生活環境を整える必要があります。

ポイント③

近所に配慮ができますか？

ペットの放し飼いや鳴き声、糞尿などの苦情や相談が多く寄せられています。飼い方のマナーを守り、地域社会で受け入れられるように飼うことができるかどうか事前に考えましょう。



◆「マイクロチップ装着」と

「情報の登録」の義務化

6月1日に「改正動物愛護管理法」が施行され、ペットへのマイクロチップ装着と情報の登録が義務化されました。マイクロチップは世界で唯一の番号が記録され、動物の皮下に埋め込まれます。そのため、ペットが迷子になってしまっても、家族の元へ帰ることができます。マイクロチップが装着された犬や猫を家族に迎え入れたら、飼い主の名前や住所などの所有者情報の変更登録を行います。

◆「あすまいる」に 行ってみませんか？



動物愛護推進センター「あすまいる」は、三重県の動物愛護管理の拠点として、平成29年に開所しました。「あすまいる」には動物、人、すべてに笑顔が広がるという意味があり、犬・猫の譲渡、普及啓発活動など、動物の殺処分ゼロに向けた取り組みを行っています。



◆災害時にペットを守るには

災害時にペットを守ることができるのは、あなただけです。災害が起きた時に、家族と一緒にペットが安全に避難できるよう、日頃からの備えが必要です。行方不明にならない



【問い合わせ】

○伊賀保健所 ☎24・8080
○三重県動物愛護推進センター「あすまいる」 ☎059・2531・2368

☎059・2531・2368





芭蕉翁記念館だより

元禄7年9月、芭蕉は伊賀上野を出て大坂に向かう途中で奈良に1泊します。その際、猿沢池のほとりを吟行し詠んだ句を紹介します。

びいと啼尻声かなし夜の鹿

雌鹿を求めて鳴く雄鹿の声は、もの悲しさを感じさせるものとして、『万葉集』の時代から盛んに和歌に詠まれてきましたが、この句のように鳴き声そのものが表現されることはありませんでした。芭蕉は、「びい」という擬声語を用いて鳴き声を表現することで、詠み尽くされてきた伝統的な素材に、新しさを吹き込むことに成功しました。

◆企画展「俳句と食」開催中

9月11日(日)まで

◆第76回芭蕉祭特別展「芭蕉を慕う人びと」(予定)

9月16日(金)～12月25日(日)

【問い合わせ】

○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

公共交通を利用しましょう

9月20日は「バスの日」

1903(明治36)年9月20日、京都で乗り合い自動車の運行が始まりました。その後、9月20日は「バスの日」として親しまれています。

市では10月10日まで公共交通機関利用促進期間を設け、期間中の鉄道やバスなどの利用を呼びかけています。通勤・通学・出張・旅行などに積極的に利用しましょう。

市内のバスは車内の換気や消毒を徹底していますので、マスク着用などの対策をして、ぜひバスでお出かけください。

【問い合わせ】 交通政策課

☎ 22-9663 FAX 22-9694



公共交通機関利用促進期間
10/10 まで実施中!!

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

忍術書「間林清陽」発見

忍術書「万川集海」のルーツとされる書「間林清陽」が甲賀市内にある神社の蔵の中から発見されました。

今回発見された書物は、江戸中期に作成されたと考えられ、表題には「軍法間林清陽巻中」とあり、他にも上下巻が存在すると推定されます。

甲賀市では、この忍術書の複製品と、書物に記載されている「忍具」や「忍具」を再現し、甲賀流リアル忍者館で展示します。

【と き】 9月10日(土)～ ※月曜日休館

【ところ】 甲賀流リアル忍者館

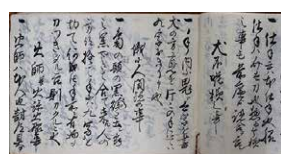
(甲賀市甲南町竜法師 600) ※入館無料

【問い合わせ】 甲賀市観光企画推進課

☎ 0748-69-2190



▲見つかった「間林清陽」の表紙



▲「犬に吠えさせないようにする術」など約50カ条が書かれています。

亀山7座トレイル ～登りたい山が、ここにある～

亀山市では、鈴鹿川等源流域における市域を代表する7つの山々をつなぐ「亀山7座トレイル」のトレッキングコースを整備し、地域資源を生かした観光政策を推進しています。

市ホームページ(公式YouTubeサイト)では、「亀山7座トレイル」の山々の特徴や眺望などを紹介するショートムービーを制作し、その魅力を発信しています。ぜひ動画をご覧ください、「亀山7座トレイル」の自然に実際に触れ、美しい風景をお楽しみください。



亀山7座トレイル 最新情報

検索

【問い合わせ】

亀山市商工観光課観光・地域ブランドグループ

☎ 0595-84-5074



伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀市

伊賀市

笠置町

山城南

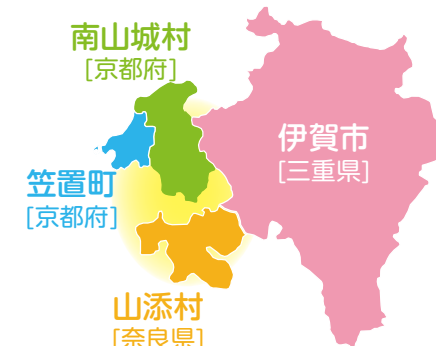
山添村

伊賀市は、京都府笠置町・山城南村・奈良県山添村と定住自立圏形成協定を締結し、医療や防災、観光などを連携して事業に取り組んでいます。

この圏域は、府県境にあり従来から買い物、医療、仕事、文化、スポーツなど、生活において繋がりが結びつきが強く、圏域外の地域に誇れるところです。

それぞれの地域がイチ押しのスポットなどを紹介します。

定住自立圏域



笠置町

自然が作り出した芸術「甌穴」

布目川の最下流地、木津川との合流付近に「甌穴」と呼ばれている、自然が作り出した不思議な穴があります。

甌穴は河床のくぼみに入った小石や岩石の破片が、渦流によって回転しながら岩盤に掘った丸い穴で、この辺りの河床に広がっている非常に堅い花崗岩にできた甌穴は珍しく、穴ができるまでには数十万年から数百万年かかるとも推測されています。

正に長い年月をかけて作られた自然の造形美とも言えるでしょう。

【問い合わせ】 笠置町商工観光課

☎ 0743-95-2327



山添村

神野山ツツジのひろば復活プロジェクト 第1回植栽会 “もゆるおもひ”～あなたの思いを咲かせませんか?～

フォレストパーク神野山のヤマツツジは、令和3年3月の火災で約1,000株が燃えてしまいました。神野山のヤマツツジを再生するため、山頂付近にヤマツツジを植栽するイベントを開催します。ぜひご参加ください。

【と き】 10月15日(土)

午前10時30分～正午ごろ

※雨天時は10月22日(土)に順延

【ところ】 神野山山頂付近

(山添村大字伏拝)

【定員】 先着40人程度

※中学生以下保護者同伴

【申込期限】 9月30日(金)

【申込先・問い合わせ】

山添村総合政策課 ☎ 0743-85-0040



10月の子育てコーナー



赤ちゃんの健診と相談

健診・相談名	健診・相談日	時 間	場 所	対象・内容など
1歳6カ月児健診	18日(火)	13:00～14:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	身体計測、内科・歯科健診、歯の相談、栄養相談、育児相談など ※対象児には、1歳6カ月児健診は1歳7カ月頃、3歳児健診は3歳7カ月頃までに通知します。母子健康手帳をご持参ください。
乳幼児相談	6日(木) 27日(木)	13:00～14:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	育児相談・栄養相談 ※予約制 ※詳しくは市ホームページをご覧ください。 ※母子健康手帳をご持参ください。 【問い合わせ】 健康推進課 ☎ 22-9653 地域包括支援センター 東部サテライト ☎ 45-1016 南部サテライト ☎ 52-2715
	3日(月)		いがまち保健福祉センター	
	14日(金)	9:30～11:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	
	19日(水)		青山子育て支援センター	
	25日(火)	10:00～11:30 13:30～15:30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	

子育て支援のための教室・遊び場の開放

イベント	対象	日程	時間	内容・申込など
●子育て包括支援センター ☎ 22-9665 開放日：月～金曜日、第3土曜日 9:00～17:00 第4日曜日 9:00～12:00				
土曜ふれあい広場	未就学児	1日(土)	10:00～	親子ふれあいあそび
すくすく Baby	7カ月～1歳	5日(水)	14:30～	赤ちゃん体操 (定員10組) ※予約受付: 9/28(水) 9:00～
食育教室もぐもぐ	1歳6カ月以上	7日(金)	10:00～	親子で楽しむ食育 (定員10組) ※予約受付: 9/30(金) 9:00～
ぴよぴよ Baby	2～6カ月	14日(金)	14:30～	親子ふれあいあそび (定員10組) ※予約受付: 10/7(金) 9:00～
キラキラぶち①	2021年4～9月生まれ	20日(木)	10:00～	からだ育て体操 (定員10組) ※予約受付: 10/13(木) 9:00～
子育て講座 (子育てに役立つ専門職の方のお話)	未就学児とその保護者	24日(月)	10:00～	防災のお話 (定員10組) ※予約受付: 10/17(月) 9:00～
●いがまち子育て支援センター ☎ 45-1015 開放日：月～金曜日 9:00～17:00				
らぶらぶひろば	未就学児	7日(金)・14日(金)・21日(金)	9:00～	大型遊具遊び
赤ちゃんひろばミルキィ	2022.1.1以降満3カ月以上	19日(水)	10:30～	だっことおんぶの何でも相談会 (定員15組) ※予約受付: 10/3(月) 9:00～
おはなしひろば “わくわく”	未就学児と保護者	20日(木)	10:30～	絵本読み聞かせ (定員10組) ※予約受付: 10/3(月) 9:00～
らぶらぶひろば ハロウィンパーティー	未就学児	28日(金)	10:15～	ハロウィンパーティー (定員20組) ※予約受付: 10/18(水) 9:00～
おたんじょう会	10月生まれの未就学児	31日(月)	10:15～	親子でお祝い (定員10組) ※予約受付: 10/17(月) 9:00～
●島ヶ原子育て支援センター ☎ 59-9060 開放日：月～金曜日 9:00～17:00				
わくわくひろば	子育て中のみなさん (就学前親子)	24日(月)	10:00～	子どもと一緒に作る筆文字手形アート (定員14組) 材料費500円 ※予約受付 10/11(水) 9:00～10/17(月)まで
●あやま子育て支援センター ☎ 43-2166 開放日：火～土曜日 9:00～17:00				
元気っ子ひろば	未就園児 (満1歳～)	14日(金)	10:00～	アイシングクッキーでハロウィンオーナメント (定員10組) ※材料費500円 ※予約受付: 9/30(金) 9:00～
みんなあつまれ!	未就園児	18日(火)	10:00～	絵本を楽しもう (定員6組) ※予約受付: 10/4(水) 9:00～



離乳食教室

「離乳食教室」は、離乳食の作り方を実際に調理しながら学ぶことができる教室です (25 ページに教室の案内があります)。

会場はハイトピア伊賀の調理室で、月齢ごとの離乳食の進め方に関する講話のほか、同じ月齢の赤ちゃんがいる保護者同士で情報共有しながら、子育てに関する困りごとの相談もできます。託児もありますので、安心して調理に専念することができます。

内容は離乳食前期 (1～2回食) の回と、離乳食後期 (3回食) の回があります。この日は、離乳食前期の教室で、講話の後、10 倍がゆと野菜の白和えを作りました。

参加は事前予約が必要です。健康推進課へご連絡ください。

イベント	対象	日程	時間	内容・申込など
●大山田子育て支援センター ☎ 47-0088 開放日：月～金曜日 9：00～17：00				
おたのしみひろば	未就学児	3日(月)	10：00～	かわいい運動会（定員10組） ※予約受付：9/27(火) 9：00～
えほんとせいさくのひろば	未就学児	21日(金)	10：00～	読み聞かせ・カレンダー作り（定員10組） ※予約受付：10/14(金) 9：00～
のびっこひろば	未就学児	24日(月)	10：00～	消防署見学とお話（定員10組） ※予約受付：10/17(月) 9：00～
●青山子育て支援センター ☎ 53-0711 開放日：火～土曜日 9：00～17：00				
おはなし会	未就学児	5日(水)	10：30～	絵本の読み聞かせ
おともだちあつまれ！	妊婦・0～1歳児	13日(木)	10：30～	からだ遊びと工作など
	2歳～	20日(木)		
●にんにんパーク ☎ 22-9665 開放日：第2日曜日 9：00～14：00				
子育て相談・からだそだて事業	未就園児	9日(日)	10：00～	公園の秋を探そうの術
●曙保育園「すくすくらんど」 ☎ 21-7393 開放日：月～金曜日 10：00～16：00				
すくすくひろば	未就園児	3日(月)・17日(月)・ 24日(月)・31日(月)	10：00～	戸外あそび
本とおもちゃルーム「ぐるんぱ」	未就園児	5日(水)・19日(水)・ 26日(水)	10：00～	絵本の読み聞かせ 10/11(火)～14(金) みんなでえほん展&あそぼうウィーク
●森川病院「エンジェル」 ☎ 21-2425 開放日：月・水・金・土・日曜日 12：00～17：00				
さあ始めよう離乳食教室	4～5カ月の親子	5日(水)	14：00～	定員5人 ※予約制 離乳食の始め方
離乳食お悩み相談室	6カ月以上の親子	19日(水)	10：00～	定員3人 ※予約制 離乳食を開始している人
赤ちゃんなんでも相談・ はついく測定		31日(月)	13：30～	13：30～15：00の間の都合のつく時間 にお越しください。
※各教室の開催時間は1時間～1時間30分程度です。持ち物など、詳しくは各支援センターへお問い合わせください。				
【問い合わせ】 子育て包括支援センター（ハイトピア伊賀 4階） ☎ 22-9665 FAX 22-9666 ✉ kosodate@city.iga.lg.jp				

※各教室の開催時間は1時間～1時間30分程度です。持ち物など、詳しくは各支援センターへお問い合わせください。

【問い合わせ】 子育て包括支援センター (ハイトピア伊賀 4階) ☎ 22-9665 FAX 22-9666 ✉ kosodate@city.iga.lg.jp



伊賀線全線開通 100 周年記念イベント

7月17日と18日の2日間にわたって伊賀線全線開通 100 周年記念イベントが開催されました。

17日の「伊賀線まつり 2022」には、およそ 3,000 人の鉄道ファンが訪れました。18日は、100 周年記念列車を運行し、茅町駅では、伊賀白鳳高校工芸部が製作した木製ベンチのお披露目もありました。

この2日間は多くの人が伊賀線全線開通 100 周年を祝い、改めて地域の公共交通について考える機会となりました。

1. 制服を着て車内アナウンスを体験する子ども 2. ジオラマの展示やミニコンサートを行った会場は多くの来場者でにぎわいました。3. 全線開通 100 周年記念列車出発式ではテープカットが行われました。4. 茅町駅に設置された木製ベンチの除幕の様子



1. グループに分かれて交流しました。
2・3・4. 暮らしの中で感じることなど、さまざまな思いを語り合いました。



伊賀市移住者交流会

7月24日(日)、上野森林公園で、伊賀市移住者交流会を行いました。今年は約2年半ぶりの開催で、伊賀市に移住した人の情報交換やつながり作りを目的として、グループトークなどを通して交流しました。

参加者は、移住したきっかけや最近のマイブームなどを紹介したり、伊賀市にまつわるクイズ大会などを通して交流を深めました。



1. 竹とんぼ、上手く飛ばすかな？
2. 親子で製作に取り組みました。
3. 講師の手元を熱心に見つめる子どもたち
4. 紙飛行機の羽を微調整して何度もチャレンジ



夏休みの工作教室

7月30日(土)、伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎で、「夏休みの工作教室～良く飛ぶおもちゃを作る～」を開催しました。

参加した子どもたちは、プラスチックシートやストローで作る竹とんぼや紙飛行機を真剣な表情で丁寧に組み立て、完成したおもちゃを飛ばす時には大きな歓声をあげていました。

夜のとしょかん探検

8月2日(火)、上野図書館で、「夜のとしょかん探検」を行いました。この日は、館内を巡るスタンプラリー、おはなしボランティアグループ「ちいさなねこ」による絵本の読み聞かせやパネルシアター、図書館の本の並び方を学びながら本を探すゲームを行いました。

館内の照明を暗くして夜の雰囲気が漂う中、参加した親子は、普段は入れない書庫を探検したり、指令書にある本を探すなどして、楽しんでいる様子でした。



1. 館内に設置されたポイントでスタンプを押しました。
2. 少ない人数でゆったりとした空間で行われたおはなし会
3. 図書の分類方法について学びました。
4. 探し出した本の中にある指令書を読む参加者

未来への約束を、公正証書が守ります！

終活 ①遺言、②財産管理等委任契約、③任意後見契約、④死後事務委任契約、⑤尊厳死宣言

離婚 ①養育費支払、②財産分与、③年金分割合意など

伊賀上野公証役場

伊賀上野公証役場 検索

三重県伊賀市上野丸之内 28 番地 ラフォーレビル3階
電話0595-23-6549(上野市駅から徒歩2分)



伊賀FCくノ一三重

サテライト・ジュニア選手募集

【活動内容】
練習日 ジュニア 毎週火・金曜日(土日試合有り) サテライト 毎週火・水・金曜日(土日試合有り)
対象 ジュニア 小学1年生～6年生の女の子 サテライト 中学1年生から高校3年生女子
場所 KUNOICHI グラウンド(旧丸山中学校) メイハンフィールド(名張市)
部費 ジュニア(月額) 4,000円(その他、年会費等別途かかります)
サテライト(月額) 5,500円(その他、年会費等別途かかります)

【お問い合わせ】
特定非営利活動法人伊賀FCくノ一
〒518-0015 三重県伊賀市土橋 61 番地
TEL:0595-24-2564
HP: https://www.igafc.jp/

選手初心者の方も大歓迎
体験参加できます！！



早い！ おいしい！

ガス炊飯器で **新米** を炊こう！

「はじめチョロチョロ～なかパッパ」
火で炊く
それがおいしさの秘訣です。

ガス炊飯器のよいところ

- 強火と火加減 弱火で始まり一気に強火で沸騰まで。絶妙な火加減だからおいしい！
- 包み込む 火の力が対流を起こし、金全体を高温で包み込むからおいしい！
- 短時間 なんてたって、火で炊くから早い！

あなたとともに、未来へ — 伊賀市上野茅町2706 0595-21-3611
上野ガス UENO GAS LINE公式アカウント 友だち募集中
https://www.ueno-gas.co.jp

上野天神 月見だんご

三重県伊賀市上野新町二七五ノ二 電話 〇五九五(一)(一)〇六(一五)

有料広告を募集します

広報いがへの広告を募集しています。広報いがは市内の各戸へ配布するほか、市ホームページに掲載します。

【発行部数】 毎号約3万5000部
【掲載料】 1枠…2万円 (縦5cm×横9cm)
【申込期限】 発行日2カ月前
【問い合わせ】 秘書広報課 22・96636

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。

※**申**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

里親について考える つどい**申**



里親制度とは、さまざまな事情により家庭で暮らすことができない子どもたちを、自分の家庭に迎え入れて養育する制度です。

この制度を知ってもらうために、映画の上映会と対談を開催します。

【と き】
10月15日(土) 午前10時～正午
【ところ】
上野フレックスホテル 2階萩の間
(平野中川原 544-2)

【内 容】
○映画『育ててくれて、ありがとう』上映
○出演者と里親の対談

【対象者】
里親に関心がある人、里親の話を聞いてみたい人、子どものために何かしたいと思っている人

【定 員】 100人
※子どもと一緒に参加できます。
【申込期限】
10月13日(木) 午後5時 申込フォーム
【申込先・問い合わせ】
里親なんでも相談所「ほっこり」
☎ 41-1144 FAX 63-0721



ご意見をお聞かせください
広報いが・行政情報番組(ウィークリー伊賀市・文字放送)について、ご意見・ご提案をお聞かせください。

【問い合わせ】 秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 24-7900
✉ hisho@city.iga.lg.jp

行政だより「ウィークリー伊賀市」
市公式 Youtube チャンネルで配信中！



最新の放送内容を視聴できるほか、過去の放送分も視聴できます。

【問い合わせ】
秘書広報課
☎ 22-9636 FAX 24-7900



子育て・教育

全国一斉 司法書士による
養育費相談会



【と き】 9月25日(日)
午前10時～午後4時
【相談電話番号】 ☎ 0120-567-301
【問い合わせ】
三重県青年司法書士協議会
(事務担当 坂尻司法書士事務所)
☎ 44-6751

離乳食教室**申**



【と き】 10月5日(水)
○前期：午後1時30分～3時
○後期：午前10時～11時30分

【ところ】
ハイトピア伊賀 4階多目的室
【内 容】
○前期：離乳食前期(1～2回食)の離乳食の調理
○後期：離乳食後期(3回食)の離乳食の調理

【持ち物】
母子健康手帳・筆記用具・エプロン・三角巾・手ふきタオル
【定 員】 各回先着6人
【申込方法】 電話
※託児を希望する人はご相談ください。
【申込受付開始日】 9月15日(木)
【申込先・問い合わせ】 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666



行政だより
「ウィークリー伊賀市」

市政情報をお伝えしています。
ケーブルテレビ17チャンネル(青山は204チャンネル)・地上デジタル放送121チャンネルで放送中です。

番組表は、各支所(上野支所を除く)・各子育て支援センターで配布しているほか、右の2次元コードからもご確認いただけます。



「おもいやり駐車場」の
利用には利用証が必要です



公共施設や商業施設などに設置された「おもいやり駐車場」は、障がいのある人や要介護高齢者、妊産婦やけが人など歩行が困難な人で、三重県が発行する「おもいやり駐車場利用証」を持っている人がご利用できます。「入口に近いから」「空いているから」などの理由で、利用証のない人が駐車してはいけません。

また、おもいやり駐車場の区画数には限りがあります。利用証を持っている人も、体調が良い時や、同乗者の介助を受けられる時など、歩行や乗降に支障がない場合は、他の利用者のためにおゆずりください。

この制度は、皆さんの「おもいやり」と「ゆずりあい」の心で成り立っています。おもいやり駐車場の適正な利用にご協力ください。

なお、利用証の申請は、障がい福祉課、各支所(上野支所を除く)、健康推進課(妊産婦のみ)、伊賀保健所、県庁(地域福祉課)で受け付けています。申請手続きに不備がなければ、その場で交付することができます。

◆電子申請できます
7月7日(木)より、三重県ホームページから電子申請による受付を開始しました。



【申込先・問い合わせ】
○障がい福祉課
☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp
○健康推進課(妊産婦のみ)
☎ 22-9653 FAX 22-9666

「ヘルプマーク」を知っていますか？



援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。

【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

脳の健康チェック
(もの忘れ相談)



もの忘れを早期に発見するため、もの忘れ相談プログラムによる脳の健康チェックを行います。保健師による相談もあります。
※過去に受けたことがある人は、6カ月以上の期間をあけて受けることをお勧めします。

【と き】 9月30日(金)
午前10時～11時(受付時間)
【ところ】
ハイトピア伊賀 4階多目的室
【問い合わせ】 地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

がん患者と家族の方の
おしゃべりサロン**申**



【と き】 10月6日(木)
午後1時30分～3時30分
【ところ】
ハイトピア伊賀 5階学習室2
【対象者】
がん患者・家族など
【申込方法】 電話
【申込先・問い合わせ】
三重県がん相談支援センター
☎ 059-223-1616
FAX 059-202-5911

防災・情報アプリ
HAZARDONで配信中！

○災害緊急情報
○気象情報
○地震情報
○土砂災害情報
○火災情報
○行政情報
○自治協議会・自治会からのお知らせ



【問い合わせ】
防災危機対策局
☎ 22-9640
FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp



いがオレンジカフェ



認知症の人やご家族、地域の人など、誰でも参加できるカフェです。「認知症について知りたい」「相談したい」「仲間を作りたい」という皆さん、ぜひお越しください。

【と き】 9月13日(火)
午前10時～正午
※午前10時30分から20分間は、健康体操や脳トレを行います。
【ところ】
ハイトピア伊賀
4階ミーティングルーム
【問い合わせ】
地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511

認知症のひと家族の会
「伊賀地域つどい・交流会」



認知症の人を介護する家族がつらさやしんどさを抱え込んでしまわないための、情報交換・近況報告の場です。
【と き】
9月27日(火)
午後1時30分～4時
【ところ】
名張市役所 会議室 302
(名張市鴻之台 1-1)
【料 金】
200円(認知症の人は無料。家族の会会員は100円)
※認知症の人が参加する場合は、事前に連絡してください。

【問い合わせ】
地域包括支援センター
東部サテライト
☎ 45-1016 FAX 45-1055

伊賀市健康マイレージ
参加者募集

健康づくりに取り組んで健康と賞品をゲット！

【問い合わせ】
健康推進課
☎ 22-9653
FAX 22-9666



2次元コードから詳しい情報が見られます。

くらしの
情報

© 2022 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L633265 My Melody
伊賀市応援キャラクター

健康・福祉

自殺予防週間



9月10日(土)は自殺予防デーです。また、毎年9月10日からの1週間を自殺予防週間と定めています。

また、長期休暇明けには、10代の自殺リスクが上がることから、自殺予防週間に先駆けて、長期休暇期間中から啓発活動を行います。ポケットティッシュや、啓発チラシを設置し、悩みを抱えた人が必要な情報や支援を受けられるよう相談窓口を案内します。

【と き】
8月17日(水)～9月16日(金)
※開庁時間内
【ところ】
○本庁舎 1階ロビー
○ハイトピア伊賀
2階エレベーターホール
【問い合わせ】 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

もっと知りたい！
伊賀のこと

毎月1問、伊賀に関するクイズを掲載します。

問題 伊賀鉄道は、起終点駅含め全部で何駅？

① 12 駅
② 13 駅
③ 14 駅
④ 15 駅

(答えは 31 ページ)

※**申**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

体力・運動能力調査



スポーツ庁の体力・運動能力調査を実施します。今年の秋は自分の体力・運動能力を測定してみませんか。

【対象者】 市内在住の20～79歳

【とき・ところ】

- 9月25日(日) 青山中学校体育館
- 10月2日(日) 上野東小学校体育館

【時間】

- 午前の部：午前10時測定開始（受付：午前9時30分～）
- 午後の部：午後2時測定開始（受付：午後1時30分～）

【測定内容】

- 20～64歳：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび
- 65～79歳：握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立、10m障害物歩行、6分間歩行

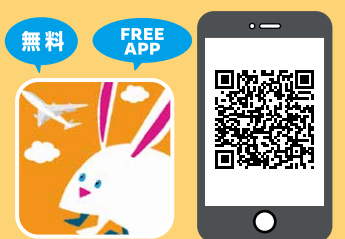
【申込方法】 住所、氏名、性別、年齢、生年月日、電話番号、参加日時を明記の上、下記まで。申込フォームからも申し込みできます。

【申込期限】 9月14日(火) 午後5時

【申込先・問い合わせ】

スポーツ振興課
☎22-9635 FAX 22-9694
✉sports@city.iga.lg.jp

10言語対応「広報いが」
デジタルブックで配信中！





This Public relations magazine can be read in 10 languages

【問い合わせ】 秘書広報課
☎22-9636 FAX 24-7900
✉hisho@city.iga.lg.jp

三重県立美術館友の会
美術セミナー**申**



伊賀市出身で画家として国際的に活躍された元永定正さん(1922-2011)の画業を振り返るとともに、郷里・伊賀との関係も交えてお話しします。

【とき】 9月24日(土)
午後1時30分～3時

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【内容】

- 演題：漫ちゃん、もーやん、MOTONAGA SADAMASA 一生誕100年 元永定正展をむかえて
- 講師：三重県立美術館 学芸員 原 舞子さん

【定員】 先着50人 ※事前予約制

【申込方法】 氏名と電話番号を下記まで。

【申込受付開始日】 9月6日(火) 午後1時～

【申込先・問い合わせ】

三重県立美術館友の会事務局
「伊賀市美術セミナー」係
☎059-227-2232
(火～金曜日 午後1時～4時)
FAX 059-223-0570

第3回おおやまだ人権大学
講座 in ライトピア**申**



【とき】 9月27日(火)
午後7時30分～9時

【ところ】 ライトピアおおやまだ ホール

※新型コロナウイルスの感染状況によって、受講方法が変更になる場合があります。

【内容】

- 演題：わたしと部落問題 ー部落問題は昔話じゃないー
- 講師：(一社) 部落解放・人権研究所 小西 愛里紗さん

【定員】 80人

【申込方法】 氏名、電話番号を下記まで。

【申込期限】 9月27日(火)

【申込先・問い合わせ】

ライトピアおおやまだ
☎47-1160 FAX 47-1162
✉raitopia@city.iga.lg.jp

秋の寄せ植え教室**申**



秋の花をご家庭に飾る「寄せ植え」を作りませんか。

【とき】 9月21日(水)
午後2時～3時30分

【ところ】 伊賀市シルバーワークプラザ 2階

【対象者】 市内在住の60歳以上の人

【料金】 1,500円(材料費)

【定員】 25人 ※応募者多数の場合は抽選

【申込方法】 住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで。

【申込期間】 9月5日(月)～15日(木)

【申込先・問い合わせ】

(公財)伊賀市シルバー人材センター
☎24-5800 FAX 23-2040

第40回
伊賀焼陶器まつり



伊賀の窯元・作家等が一同に集まり、展示・販売・実演を行います。

【とき】 9月23日(金・祝)～25日(日)
午前9時～午後5時
(最終日のみ午後4時に終了)

【ところ】 あやまふれあい公園 すぱーく阿山

【問い合わせ】

伊賀焼陶器まつり実行委員会
(伊賀焼伝統産業会館)
☎/FAX 44-1701

伊賀市国際交流フェスタ
2022



世界の歌や踊りを通して国際交流を体験してみませんか。

日本文化、外国文化の体験、紹介コーナーやスタンプラリー、伊賀の産品が当たる抽選会もあります。

【とき】 10月2日(日)
午前10時～午後3時 ※雨天中止

【ところ】 JAとれたて市ひざっこ前駐車場(平野西町1-1)

【問い合わせ】 伊賀市国際交流協会
☎070-4455-4900 FAX 22-9631

ミュージアム青山讃頌舎
夏の特別展



◆谷本景の軌跡
—The trajectory of Kei Tanimoto—
ザ・トラジェクトリー オブ ケイ タニモト

パリで銅版画を学んだのち実家の三田窯を継承した谷本景さんが、70年代から今日に至るまで半世紀にわたって制作した銅版画、墨のドローイング、シルクスクリーン・ペインティング、陶器などの作品を約50点展示します。

【とき】 9月2日(金)～10月10日(月・祝)
午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

※火曜日休館

【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎

【料金】 一般300円(高校生以下無料)

【問い合わせ】

(公財)伊賀市文化都市協会
青山支所
☎52-1109 FAX 52-3698

いがまち人権センター
第2回解放講座



部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向け、人権意識を高め、人権への理解を深めるための講座を開催します。

【とき】 9月16日(金)
午後7時30分～9時

【ところ】 いがまち人権センター

※新型コロナウイルスの感染状況によって、オンライン配信のみとなる場合があります。

【内容】

- テーマ：「私のはなし、部落のはなし」(仮題)
- 講師：映画監督 満若 勇咲さん、(公財)反差別・人権研究所みえ事務局長 松村 元樹さん

【問い合わせ】 いがまち人権センター
☎45-4482 FAX 45-9130

県政だより みえ



三重県広報紙をこちらからご覧いただけます

三重県広報課 ☎059-224-2768

イベント・講座



人権啓発パネル展



◆人権政策課 人権啓発パネル展
「障がい者の人権Ⅱ」「同和問題Ⅱ」

【とき】 9月1日(木)～29日(木)

【ところ】 本庁舎 3階

「気づき」

【とき】 9月5日(月)～16日(金)

【ところ】 島ヶ原支所

「インターネットと人権Ⅱ」

【とき】 9月5日(月)～16日(金)

【ところ】 阿山支所

【問い合わせ】 人権政策課
☎22-9683 FAX 22-9641

◆寺田市民館 じんけんパネル展
「外国人差別と多文化共生」

【とき】 9月1日(木)～29日(木)

※開館延長日 13日(火)、20日(火)

【ところ】 寺田教育集会所 第1学習室

【問い合わせ】 寺田市民館
☎/FAX 23-8728

◆生涯学習課 人権啓発パネル展
「2022伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業」「世界人権宣言」

【とき】 9月5日(月)～10月4日(火)

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階ギャラリー

【問い合わせ】 生涯学習課
☎22-9679 FAX 22-9692

◆いがまち人権パネル展
「水平社宣言」

【とき】 9月6日(火)～22日(木)

※開館延長日 8日(木)、15日(木)、22日(木)

【ところ】 いがまち人権センター

【問い合わせ】 いがまち人権センター
☎45-4482 FAX 45-9130

「広報いが」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】 障がい福祉課
☎22-9657 FAX 22-9662
✉shougai@city.iga.lg.jp

2次元コードから詳しい情報が見られます。

親子で歩こう！
秋の城下町 2022 **申**



上野天神祭などについて学習した後、まちなかに移動し、だんじり体験乗車や鬼行列を見学しませんか。

【とき】 10月22日(土)
午後1時～3時30分

【ところ】

- ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室
- 上野新町・上野相生町

【対象者】 市内の小学生とその保護者10組

※申込者多数の場合は抽選

【申込方法】 申込書に必要事項を記入の上、生涯学習課まで。市ホームページ、電話、ファックスでも受け付けます。

【申込期間】 9月9日(金)～30日(金)

【申込先・問い合わせ】 生涯学習課
☎22-9679 FAX 22-9692

伊賀市役所 本庁舎
9月のアート情報



本庁舎で下記の展示を行っています

◆4階市民ギャラリー

- 上野スケッチ教室 「同好会の集い展」
- ◆1階玄関横
- 寄贈作品展示

絵画
「物質の解放 [Work 2021.10.1]」
細馬 千佳子さん
○いけばな(伊賀華道協会)

※準備などで展示のない場合があります。

※観覧時間は市役所の開庁時間に準じます。

【問い合わせ】 文化振興課
☎22-9621 FAX 22-9619



※**㊦**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

お知らせ

未利用間伐材を搬出して
森林整備を進めましょう

◆**みえ森と緑の県民税市町交付金事業**
森林管理を進めるため、未利用間伐材の収集運搬に対して補助金を交付します。

【補助金の額】
市内の一定の条件を満たした場所への搬出重量1トン当たり3,000円

【申請方法】
「発電利用に供する木質バイオマス証明材取扱者」に登録し、未利用間伐材の搬出重量を証明する書類、搬出状況の写真など必要な書類を添えて郵送または持参

【申請期限】
○4月1日～9月30日の搬出分：10月14日(金)
○7月1日～12月31日の搬出分：令和5年1月13日(金)
○10月1日～令和5年2月28日の搬出分：令和5年3月10日(金)

【申請先・問い合わせ】 農林振興課
☎22-9712 FAX 22-9715

10月1日は
「浄化槽の日」

1985(昭和60)年10月1日に「浄化槽法」が施行され、この日が「浄化槽の日」となりました。

浄化槽は、私たちの家庭のトイレや台所などから出る生活排水を、微生物の働きを利用してそれぞれの家庭できれいな水にして放流するものです。このため、浄化槽の使い方や維持管理に問題があると、汚れた水の流出につながり、悪臭の発生を招くなど地域の住環境を悪化させる原因になります。

保守点検、清掃、法定検査は浄化槽法で義務づけられています。「浄化槽の日」を機会に、ご家庭の浄化槽が適正に維持管理されているか確認しましょう。

【問い合わせ】
○(一財)三重県水質検査センター
☎059-213-0707
○下水道課
☎24-2137 FAX 24-2138

後期危険物取扱者試験
(乙種4類、丙種) **㊦**

【と き】 11月5日(土)
○乙種4類 午前・午後
○丙種 午前

【ところ】 ゆめぼりすセンター
【申込方法・申込期間】

○郵送
9月7日(水)～16日(金)
※消印有効
消防本部・各分署にある願書に必要事項を記入の上、郵送
○電子申請
9月4日(日) 午前9時～13日(火) 午後5時
(一財)消防試験研究センターのホームページをご覧ください。

【申込先・問い合わせ】
(一財)消防試験研究センター
三重県支部
☎059-226-8930

◆予備講習会

【と き】 10月7日(金)
午前9時20分～午後4時30分
【ところ】 消防本部 3階研修室
【対象者】 危険物取扱者試験(乙種4類)受験者

【料 金】
○受講料 1,000円(防火協会員は無料)
○教科書 1,000円(防火協会員は半額)
○問題集 1,000円(防火協会員は半額)
※教科書・問題集をお持ちの場合は、購入の必要はありません。

【定 員】 先着40人
【申込方法】 消防本部予防課までお越しください。
【申込期間】 9月20日(火)～30日(金)
※土・日曜日、祝日を除く。

【申込先・問い合わせ】
消防本部予防課
☎24-9103 FAX 24-9111

伊賀の「いいね!」がいっぱい
★facebook
伊賀市 公式フェイスブックページ

庭木の
整枝^{せんてい}剪定講習会 **㊦**

【と き】 10月25日(火)
午前10時～午後3時
(受付：午前9時30分～)
※雨天時は10月27日(木)

【ところ】 上野南公園
【講 師】 上川原緑園

【持ち物】
弁当・飲み物・剪定用具(木バサミ・剪定バサミ・刈込みバサミなど)
【申込方法】
住所・氏名・電話番号を下記まで。

【申込期限】
9月22日(木) 午後5時15分
【申込先・問い合わせ】 都市計画課
☎41-0290 FAX 22-9734

女性のための
就労支援講座 **㊦**

ゆとりのある生活を送るためには、仕事と家庭、地域活動などのバランスが重要です。ワークライフバランスの実現を、タイムマネジメントを通して一緒に学びませんか。

【と き】 10月28日(金)
午後7時～9時

【ところ】 ハイトピア伊賀 4階多目的室

【内 容】
○テーマ：女性が働き続けるためのタイムマネジメント
○講師：公認心理師 中村 咲耶さん

【対象者】
テーマに関心のある市内在住・在勤の女性

【定 員】 先着20人程度
【申込方法】
住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記まで。申込フォームから申し込みできます。

【申込期限】 10月25日(火)
【申込先・問い合わせ】
男女共同参画センター
☎22-9632 FAX 22-9666
✉jinken-danjo@city.iga.lg.jp

計量器(はかり)の
定期検査

取引や証明用に使用する計量器は、2年に1度の検査が必要です。必ず受検しましょう。

【とき・ところ】
○10月5日(水) 阿保地区市民センター 第3会議室

○10月6日(木) 大山田農村環境改善センター 玄関ロビー
○10月7日(金) 伊賀支所 公用車駐車場(屋根あり)

○10月11日(火) 阿山保健福祉センター ホワイエ
○10月12日(水) ゆめぼりすセンター 会議室1

○10月13日(木) ゆめぼりすセンター 会議室1

※いずれも午前10時30分～午後3時

【検査対象の計量器】
○商店・露店などの商品売買取引用
○病院・薬局などの調剤用
○病院・学校・福祉施設などの体重測定用

○生産者の生産物販売・出荷用
○工場・事業所などの材料購入・製品販売用

○農協・漁協などの物資集荷・出荷用
○運送・宅配業などの貨物運賃算出用

※対象となる計量器をお持ちの人に事前調査書を送付しています。事前調査書が届いていない人は商工労働課まで連絡ください。

【料 金】 種類や能力によって検査手数料は異なります。

【問い合わせ】
○三重県計量検定所
☎059-223-5071

○商工労働課
☎22-9669 FAX 22-9695

成人式実行委員募集中

令和5年に成人式を迎える人で実行委員会に参加できる人を随時募集しています。詳しくはお問い合わせください。

【申込先・問い合わせ】
生涯学習課
☎22-9679 FAX 22-9692
✉gakushuu@city.iga.lg.jp

土地無料相談会

【と き】 10月3日(月)
午後1時～4時

【ところ】 本庁舎 4階会議室405

【内 容】
地価・地代・家賃・土地利用についての相談

【相談員】
(一社)三重県不動産鑑定士協会所属の不動産鑑定士

【問い合わせ】
(一社)三重県不動産鑑定士協会
☎059-229-3671

木津川上流管内
河川レンジャー活動 **㊦**

◆古光山登山(青蓮寺川源流探検)

【と き】 10月9日(日)
午前9時30分～午後3時30分

【ところ】 古光山(奈良県曽爾村)
【定 員】 先着15人

【対象者】 小学4年生以上
※小学生は保護者同伴

【申込受付開始日】 9月15日(木)
【申込先・問い合わせ】
木津川上流管内河川レンジャー事務局
(一社)近畿建設協会
☎0742-33-1300

「公園施設のおしごと
体験」講習会 **㊦**

公園施設全般に係る管理の仕事を体験しませんか。

【と き】 10月14日(金)
午前9時30分～正午

【ところ】 上野公園

【対象者】
市内在住の60歳以上の人

【定 員】
8人(応募者多数の場合は選考)

【申込方法】 住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで。

【申込期間】 9月5日(月)～30日(金)
【申込先・問い合わせ】
(公財)伊賀市シルバー人材センター
☎24-5800 FAX 23-2040

消防団総合訓練

【と き】 10月2日(日) 午前9時～
※伊賀分団：午前9時30分～
※阿山分団：9月25日(日) 午前9時～

【ところ】
◆メイン会場

○青山・上野南分団：
青山中学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

◆サブ会場
○上野中分団：
上野西小学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○上野西分団：
花垣地区スポーツレクリエーション
広場運動場(荒天時：同体育館)

○上野北分団：
上野北小学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○上野東分団：
城東中学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○伊賀分団：
霊峰中学校グラウンド
(荒天時：同体育館)

○島ヶ原分団：
島ヶ原地区市民センター駐車場
(荒天時：島ヶ原会館大ホール)

○阿山分団：
阿山B&G海洋センター艇庫周辺
(荒天時：阿山中学校体育館)

○大山田分団：
伊賀消防署大山田分署前・
大山田支所周辺
(荒天時：大山田小学校体育館)

【内 容】
通常点検・機械器具点検・火災想定訓練など

※荒天時や新型コロナウイルスの感染状況により、観覧席の有無や訓練内容などが変わる場合があります。

【問い合わせ】 地域防災課
☎24-9115 FAX 24-9111

子育て何でも問い合わせ窓口

子育てに関する手続きや、気になることなど、気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】 こども未来課
☎22-9654 FAX 22-9646

※**㊦**マークの記載があるイベントは参加申し込みが必要です。

菜の花（ナタネ）を栽培してみませんか



市では、環境にやさしい農業の実践と資源循環型社会の構築をめざし、菜の花プロジェクトを推進しています。また、このプロジェクトから生まれた伊賀産菜種油に「七の花」と名前をつけて地域の特産物としています。

菜の花の栽培面積を拡大し、遊休農地などを解消するため、希望者に搾油用・景観用の菜の花の種子を配布します。



◆菜の花プロジェクト

地域内に資源循環の輪を創ることで地域の活性化をめざす活動

- ①菜の花を栽培（美しい農村風景を作る）
- ②菜種を収穫
- ③菜種油を生産（地域の特産物を作る）
- ④地域の特産物として販売

栽培暦

8月	9月	10月	11月～1月		
		(発芽)			(越冬)
		▼			
▲	▲				
土づくり	種まき				
2月	3月	4月	5月	6月	
		(開花)			
		▼			
▲	▲			▲	
追肥①	追肥②			収穫	

【申込方法】「秋播きナタネ配布申請書」に必要事項を記入の上、位置図を添付して持参または郵送

【申込期間】 9月1日(木)～30日(金)

【申込先・問い合わせ】 農林振興課
☎ 22-9713 FAX 22-9715

義援金の受け入れ



お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。義援金総額は市ホームページをご覧ください。

【義援金箱の設置場所】

- 本庁舎 1階ロビー
- 各支所（上野支所を除く。）

【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 26-3940 FAX 22-9673

就業構造基本調査にご協力ください



10月1日現在で就業構造基本調査を行います。

この調査は、国が国民の就業実態を明らかにするために行う統計調査です。

調査結果は、国の労働者施策に活用されるほか、地方公共団体における雇用対策などの各種施策に利用されます。

9月下旬から、調査員が調査をお願いする世帯に伺います。パソコンやスマートフォンを使って簡単に回答することができますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

【調査についての問い合わせ】

就業構造基本調査コールセンター
☎ 0570-01-7139
☎ 03-6626-0041 (IP電話)
※10月31日(月)までの午前8時～午後9時

【問い合わせ】 総務課
☎ 22-9601 FAX 22-9672

コミュニティ助成事業



(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。

この宝くじの助成金により、地域コミュニティ活動の活性化を図るため、平田区では平田公民館にエアコン、複合機、パソコン、プリンターを設置しました。

大道区では、災害避難時や集会利用時などの熱中症対策及び感染症対策のため、冷暖房機器などを購入しました。

【問い合わせ】

- 大山田支所
☎ 47-1150 FAX 46-0135
- 島ヶ原支所
☎ 59-2053 FAX 59-3196



家庭から食品ロスを減らそう



◆食品ロスとは？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

国内では、年間約2,372万トン*の食品廃棄物などが出ています。このうち「食品ロス」は年間約522万トン*と試算され、これは世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧支援量（令和2年で年間約420万トン）の約1.2倍です。

食品ロスを国民1人当たりに換算すると、毎日おにぎり1個分（113g）の食べものが捨てられている計算になります。そして、食品ロスの約半分は一般家庭から発生しています。家庭での食品ロス削減にご協力ください。

*農林水産省・環境省・消費者庁「令和2年度推計」

◆家庭でできることから始めましょう

食品ロスを減らすコツは、買い物をするときは「必要な分だけ買う」、料理をするときは「食べきれる量を作る」、食事をするときは「おいしく食べきる」ことです。

○買い物

- ・事前に冷蔵庫内を確認しよう
- ・必要な食材をこまめに購入しよう
- ・陳列されている前の食品から購入しよう

○調理

- ・残っている食材から使おう
- ・野菜や果物の皮は厚むきしないようにしよう
- ・食材を上手に食べきろう

【問い合わせ】 廃棄物対策課

☎ 20-1050 FAX 20-2575
✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

＼24ページの答え／

④15駅

伊賀上野・新居・西大手・上野市・広小路・茅町・桑町・四十九町・猪田道・市部・依那古・丸山・上林・比土・伊賀神戸の15駅

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」（上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集）から抜粋

防衛大学校学生をめざしませんか



【募集種目】 防衛大学校学生（一般）

【受付期限】 10月26日(水) ※必着

【試験期日】

1次試験 11月5日(土)～6日(日)

【合格発表】

1次試験 11月24日(木)

【応募資格】

高卒（見込含）者または高専3年次終了（見込含）者で18歳以上21歳未満の人

※自衛官候補生については、年間を通じて募集しています。詳しくは自衛隊三重地方協力本部ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】 自衛隊伊賀地域事務所
☎ 21-6720

作業療法士募集



【募集人数】 若干名

【応募資格】

昭和48年4月2日以降生まれで、作業療法士免許を持っている人または令和5年3月末までに取得見込みの人

【採用予定日】 令和5年4月1日

【勤務条件・賃金】

市の条例・規則による。

※前歴に応じた加算措置や諸手当があります。

※託児所がありますので、子どもがいる人も安心して勤務できます。

【勤務場所】 上野総合市民病院

【選考方法】 作文・面接

○試験日：10月7日(金)

※時間などは応募者に後日お知らせします。

【応募方法】

「伊賀市職員選考採用試験受験申込書」を持参または郵送で応募先まで。申込書は上野総合市民病院及び市ホームページからダウンロードできます。

※郵送の場合、簡易書留で送付

【応募期限】

9月22日(木) 午後5時15分

※必着

【応募先・問い合わせ】

上野総合市民病院病院総務課
☎ 41-0065 FAX 24-1565

2次元コードから詳しい情報が見られます。

社会を明るくする運動 作文コンテスト審査結果



社会を明るくする運動伊賀市推進委員会では、犯罪や非行のない地域社会はどのように実現できるのかを考えるきっかけとして、毎年市内の中学生を対象とした作文コンテストを開催しています。

今年は市内の中学校10校が参加し、応募作品2,110点の中から、11点の作品が入賞しました。

◆審査結果 ※敬称略

【最優秀賞】 町井 紀仁（島ヶ原中学校3年）

【優秀賞】

山添 友萌香（崇広中学校1年）

吉原 莉帆（緑ヶ丘中学校2年）

谷奥 りあら（城東中学校2年）

【奨励賞】

村田 潤平（上野南中学校3年）

西田 紗朱（柘植中学校1年）

松井 日菜子（霊峰中学校2年）

森林 杏菜（島ヶ原中学校3年）

山口 慶子（阿山中学校2年）

山下 ひより（大山田中学校3年）

田中 絢菜（青山中学校3年）

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 26-3940 FAX 22-9673

大切な契約や遺言は公証役場で



◆公証週間 10月1日(土)～7日(金)

お金を貸したり、不動産を売ったり貸したりするときは契約書を作成しますが、作成後に契約した覚えがない、内容がおかしいなどで紛争が生じることが少なくありません。また、遺言書でも同じようなことが起こる場合があります。

そこで、これらの書類を「公正証書」で残すことをおすすめします。公正証書は、公証人が作成し、証拠や執行について法的な効力があって、紛失したり、知らないうちに書き換えられたりする心配がありません。

公正証書についての相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】 上野公証役場（上野丸之内28 ラフォーレビル3階）
☎ 23-6549

人権政策審議会委員募集



市の人権政策に係わる事項や、あらゆる差別の撤廃、市民などの人権擁護に関して必要な事項を調査・審議していただく委員を募集します。

【募集人数】 1人

【応募資格】

次の条件をすべて満たす人

- 市内在住の人
- 市が設置する他の審議会・その他附属機関の委員でない人
- 市議会議員・市職員でない人

【開催回数】

年2～4回程度（平日の昼間）

【任 期】 委嘱の日から2年間

【報 酬】 月額6,000円

※市の規定に基づく。

【応募方法】

人権が尊重される社会づくりについての提言や自分の役割などを、400字以上800字以内（様式は自由）にまとめ、応募用紙とあわせて、下記まで。

応募用紙は、人権政策課、各支所にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【選考方法】 作文審査・面接（面接の日程などは、後日お知らせします。）
※委員の構成比率などを考慮して決定します。

【応募期限】 9月30日(金) ※消印有効

【応募先・問い合わせ】 人権政策課
☎ 22-9683 FAX 22-9641

✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

お詫びと訂正



広報いがが8月号2ページ、3ページ、27ページに誤りがありました。お詫びして訂正します。

○2ページ

正) 舞台劇は1968年の初演から

○3ページ

正) 田端 泰子（伊賀市）

○27ページ

正) 喜多流 能 「杜若」

和泉流 狂言 「雷」

【問い合わせ】 文化振興課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

ちから スポーツの力 ～する・みる・ささえる～

伊賀市総合型地域スポーツクラブ

皆さんは日々運動をしていますか。運動をしている人もこれから始める人も、「上手になるために指導者に教えてもらいたい」「初心者だから基本から教わりたい」「激しい動きはできないけど健康のために体を動かしたい」「運動をしながら仲間との交流を楽しみたい」など、さまざま思いがあるのではないのでしょうか。

総合型地域スポーツクラブ*は、子どもから高齢者まで幅広い年代が参加することができるさまざまな種目の教室を開催しています。また、初心者からトップレベルまで自分に合ったレベルで参加することもできます。

市内には現在、伊賀フューチャーズクラブ、いが

まちスポーツクラブ、おおやまだスポーツクラブ、神戸スポーツクラブ、府中スポーツクラブ、スポーツクラブどんぐりの6つのスポーツクラブがあります。



各クラブそれぞれの地域にある施設を利用し、地域のニーズや特色に合ったスポーツ教室を開催しているので、新たなスポーツへの挑戦、健康維持・増進のために、仲間との交流のために、気軽に教室に参加して体を動かしてみませんか。

体験教室やイベントもあるので、まずはやってみるのもオススメです。各クラブの詳細な教室内容などは、市ホームページをご覧ください。

*スポーツ庁が認定する、地域住民が自主的・主体的に運営するスポーツクラブ

【問い合わせ】 スポーツ振興課

☎ 22-9635 FAX 22-9694

✉ sports@city.iga.lg.jp



明日に向かって ～差別をなくしていくために～

デジタルと人権

デジタル社会の進展に伴い、AI（人工知能）を用いたさまざまな仕組みができてきました。身近なところでは、人を感知し温度調節してくれるエアコンや、スマートフォンのロックが解除できる顔認証など、AIにより私たちの生活はより豊かなものになっています。

一方、AIによるさまざまな問題も生じています。2018年10月にアメリカで起きた窃盗事件では、監視カメラの映像をもとにした顔認証システムで誤った人物が犯人と特定され、逮捕されるという事件が発生しました。

また、2019年4月2日付の朝日新聞では、「人工知能（AI）を使った顔認証技術は、女性や肌の色の濃い人の識別が苦手らしい。そんな研究報告を機に『差別を助長するAI』への懸念が強まっている」と報じています。

人種や性別による識別のばらつきが原因で誤認

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

ーデジタル自治推進局ー

逮捕につながるがあるとすれば、平等に生活する権利を不当に奪われる人が出てくることになります。

このような状況から、憲法の保障する基本的人権を侵すものであってはならないことや、プライバシー確保などを定めるために、政府は2019年3月に「人間中心のAI社会原則」を策定しました。その後、国内企業においてもAIに関するガイドラインを定めるなどの動きが出てきています。

今後ますますデジタル技術を用いた仕組みがさまざまな場面で活用されるようになり、私たちはその恩恵をあらゆる分野で受けるようになるでしょう。その一方で、今までにない新たな人権課題が生じてくることも考えられます。人権はいつの時代も守られるべき普遍的価値であり、デジタル社会が進展しても第一に尊重すべきであることを常に意識し行動したいと思います。

人権について考えるコラムです。

伊賀の歴史余話

25

二宮金次郎像

（伊賀焼の尊徳先生）

学校の校庭にあるものといえば、薪を背負って本を読む少年金次郎の像を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

二宮金次郎（尊徳）は、江戸後期に相模国で生まれ、少年時代に父母を亡くしながらも農耕に励み、読書を好み独自に算術を学んだとされます。成長後は荒廃した農村を建て直す政策「報徳仕法」を説いて、農政家として大きな業績を残しました。

家業を助けながら勉学に励んだ金次郎のイメージは、小学生の模範として戦前の修身の教科書に採用され、大正13（1924）年には前芝尋常高等小学校（愛知県豊橋市）に学校として初の金次郎像が建立されます。

文化財課歴史資料係
☎/FAX 41・2271



▲伊賀焼の二宮金次郎像
（旧丸柱小学校）

な金次郎像を設置したのが丸柱小学校でした。昭和14（1939）年、地元の陶匠が陶製の金次郎像を製作し、学校に寄附したのです。当時の新聞は『伊賀焼の尊徳先生』の見出しで、玄関脇に建設中の像を紹介して「陶郷にふさはしい異色を誇る像」であると記しています。

丸柱小学校は、平成27（2015）年に閉校となりましたが、金次郎像は今も「報徳」と記された台座の上に姿を見ることが出来ます。

なお、この新聞記事によると、上野町の小学校でも高さ5尺2寸（約一・五メートル）の青銅製の金次郎像が建設中であつたようです。当時は、このような銅製の金次郎像も各地に造られました。第二次大戦期の金属供出によって姿を消し、現在は石製の金次郎像が多く残されています。

IGAMONO
伊賀

IGAMONO
セレクション

No. 29

【問い合わせ】 商工労働課 ☎ 22-9669 FAX 22-9695

『伊賀の美味しいものの代表格「伊賀牛」「伊賀米」をひとくちに。』
伊賀特産品の醤油「はさめず」を使ってコトコト炊いたお肉の旨みたっぷりの「時雨煮」を、ほどよい加減の酢飯で包み、おぼろ昆布で巻いたお寿司です。
美味しい伊賀を片手でつまめる「伊賀牛時雨煮巻き」。ぜひご賞味ください。



伊賀牛時雨煮巻き



株式会社きねや
木根 英男さん

当社は、旬彩天「そらや」をはじめとした飲食事業や配食事業を営む食の会社です。地元素材に日々触れる中で、「伊賀の豊かな自然の恵みを日本全国に届けたい」「地元の人にも再発見してもらいたい」そんな気持ちを抱くようになり、伊賀産素材でつくる食のブランド「伊賀まんま」をたち上げました。何でもある時代だからこそ、便利さや手軽さだけを求めるのではなく、食の在り方を原点に

戻した「安全で美味しいもの」をつくりたいと考えています。子どもから高齢の方まで安心して食べてもらえる。その味を噛みしめてもらえる。大切な人に贈りたいと思ってもらえる。誰かに貰うとその人の想いを感じてもらえる。「伊賀をまんま伝える伊賀のまんま」、ブランド名には地元への愛情と感謝、そして誇りを込めています。



10月の無料相談

暮らしのいろいろな問題と悩みごとについて相談をお受けします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



相談内容	開催日	時 間	場 所	問い合わせ／備考	電 話
法律相談 ※予約制 *市職員（弁護士）が相談に応じます。 （年度内1回のみ）	① 13日(木)	13:00～16:30	本庁舎 2階相談室3	住民課 ① 10/6 8:30～受付 ② 10/18 8:30～受付 ※先着6人	22-9638
	② 25日(火)				
法テラス法律相談（弁護士） ※予約制	19日(水)	13:00～16:00	本庁舎 2階相談室3	法テラス三重 ※受付期限（10/17） ※先着6人	050-3383-5470
女性法律相談（離婚・親権など） ※予約制	12日(水)	13:00～16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室	人権政策課 ※受付期間（9/26～10/6） ※先着4人	22-9632
行政相談（行政相談委員） *行政に関わる日常の困りごとをお伺いします。	7日(金)	13:30～16:00	阿山保健福祉センター 2階会議室	阿山支所	43-0333
	12日(水)		本庁舎 2階相談室3	住民課	22-9638
			島ヶ原支所 応接室	島ヶ原支所	59-2053
	18日(火)		伊賀支所 1階談話室	伊賀支所	45-9104
人権相談（人権擁護委員）	5日(水)	13:30～16:00	島ヶ原支所 会議室	人権政策課	22-9683
	7日(金)	9:00～12:00	青山福祉センター 相談室		
		13:30～16:00	阿山保健福祉センター 2階会議室		
	11日(火)	13:30～16:00	伊賀支所 2階大会議室		
	20日(木)	13:30～16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室3		
司法書士相談（登記・相続・借金問題など） ※予約制	26日(水)	13:00～16:00	本庁舎 2階相談室3	住民課 ※受付期間（9/29～10/24） ※先着5人	22-9638
交通事故相談 ※予約制	14日(金)	13:30～15:30	本庁舎 2階相談室3	住民課 ※受付期限（10/12） ※先着4人	22-9638
出張年金相談 ※予約制	5日(水)	10:00～15:00	ハイトピア伊賀 3階	津年金事務所	059-228-9112
	21日(金)				
緑（園芸）の相談	11日(火)	13:30～16:00	本庁舎 1階玄関ロビー	都市計画課	41-0290
外国人のための行政書士相談 ※予約制	6日(木)	13:30～16:00	ハイトピア伊賀 4階多文化共生センター	多文化共生課 ※受付期限（10/3） ※先着4人	22-9702
こころの健康相談 ※予約制	26日(水)	14:00～16:00	三重県伊賀庁舎 1階	伊賀保健所 ※未治療・未受診の人のみ	24-8076
健康相談	28日(金)	10:00～11:00	ハイトピア伊賀 4階ミーティングルーム	健康推進課	22-9653
高齢者の就業相談	6日(木)	13:30～15:00	島ヶ原支所	シルバー人材センター	24-5800
	20日(木) ※予約制		伊賀市シルバーワークプラザ		

※このほか、常時開設相談（消費生活相談、空き家に関する相談、高齢者・障がい者の総合相談、女性相談、家庭児童相談、母子・父子自立相談、こどもの発達相談、教育相談、青少年相談、若年の就労相談、雇用・労働相談、生活にお困りの方の相談、人権相談）もあります。



司書のおすすめ

■一般書

『92歳総務課長の教え』

玉置 泰子／著

ギネス世界記録に認定された「世界最高齢の総務部員」である著者は、92歳の今もなお現役。66年の経験から身につけたノウハウや仕事に関する心がまえを惜しみなく伝えてくれる一冊です。



『江戸の道具図鑑 暮らしを彩る道具の本』

飯田 泰子／著

『スピード完成！ 野菜の大量消費 おかず342』

食のスタジオ／編

■児童書

『宝石のひみつ図鑑』

諏訪 久子／著、宮脇 律郎／監修



『高齢者を知ろう！ 脳と体の変化から接し方まで』

平松 類／監修

『恋愛問題は止まらない』

吉野 万理子／作

■絵 本

『ころころすくすく』

吉田 敦子／作、飯野 和好／絵



『いいー日ってなあに？』

ミーシャ アーチャー／作、石津 ちひろ／訳

『アリのメアリ』

いわた まいこ／作

図書館（室）からのお知らせ

◆郷土の歴史夜咄会 その37

【と き】 9月16日(金) 午後6時～7時30分

【と ころ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【内 容】

○テーマ：歌誌「志良珠」を主宰した杉田小九

○講師：伊賀古文文献刊行会 北出 楯夫さん

※ご来場の際は、上野図書館駐車場または、市営上野公園第3駐車場（午後5時以降無料）をご利用ください。

9月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。（30分～1時間程度）

と き	と ころ	催物（読み手）
10日(出) 10:30～	大山田図書館	おはなしたいむ（きらきら）
	上野図書館	おはなしの会
17日(出) 10:30～	阿山図書館	読み聞かせの会（はあと&はあと）
20日(水) 10:30～	大山田図書館	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
21日(水) 10:30～	上野図書館	えほんの森（よもよも）
24日(出) 10:30～	上野図書館	おはなしの会
28日(水) 10:30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
10月3日(月) 10:00～	西柘植地区市民センター小ホール	絵本の時間（お話の国アリス）

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、参加者の人数を制限しています。



上野総合市民病院だより

◆訪問看護ステーション

当院では訪問看護ステーションを併設しており、看護師が患者さん宅を訪問し、主治医から指示された医療行為や必要なケアと指導を行っています。

対象は当院への通院が困難な患者さんやクリニック（開業医）の先生から依頼があった患者さんなどで、現在、およそ 50 人を訪問しています。

主治医から訪問看護の依頼を受けたら、主治医と相談し、担当ケアマネージャーや関係職種と連携を図りながら、患者さんの状態に応じた在宅でのケア内容を考えます。また、患者さんやご家族の要望にできる限り対応するとともに、不安やストレスが和らぐようお手伝いします。

週に 1～2 回のペースでご自宅を訪問し、健康状



態の観察、清潔ケア、排せつ介助、床ずれ予防、服薬指導やチューブ交換などを行っています。

安心して在宅で療養していただけるよう、24 時間連絡可能な体制をとっており、不安などがあればいつでも電話を受け、必要に応じて訪問を行います。

今後も患者さんやご家族に寄り添い、安心と安全を第一に考えた心のこもったケアを提供できるよう、取り組んでいきます。

（訪問看護ステーション管理者 中島 明美）

9 月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
*小児科以外の診療科です。				1 名張	2 上野	3 名張
4 岡/名	5 岡波	6 名張	7 岡波	8 名張	9 上野	10 上野
11 岡波	12 岡波	13 上野	14 岡波	15 名張	16 上野	17 名張
18 岡/名	19 岡波	20 名張	21 岡波	22 名張	23 上野	24 上野
25 岡波	26 岡波	27 上野	28 岡波	29 名張	30 上野	

※重症者が重なるなど、診察できない場合があります。

※非当番日は救急の受け入れを行いません。

《実施時間帯》 平日：午後 5 時～翌日午前 8 時 45 分
土・日・祝日：午前 8 時 45 分～翌日午前 8 時 45 分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後 5 時～翌日午前 9 時 水曜日：午後 5 時～翌日午前 8 時 45 分
日曜日：午前 9 時～翌日午前 8 時 45 分
※月・水曜日が祝日の場合、午前 9 時～翌日午前 8 時 45 分

二次救急（重症）の人が対象です。

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず受診前に連絡が必要です。

上野総合市民病院（☎ 24-1111）

名張市立病院（☎ 61-1100）

岡波総合病院（☎ 21-3135）

◎伊賀市応急診療所（一次救急）

【診療科目】 一般診療・小児科 【所在地】 上野桑町 1615 ☎ 22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後 8 時～ 11 時

日曜日・祝日：午前 9 時～正午・午後 2 時～ 5 時・午後 8 時～ 11 時

※受付は診療終了時刻の 30 分前までです。駐車場に受付を設置しています。

※各種感染症検査（新型コロナウイルスなど）は行っていません。

※点滴・レントゲン検査・血液検査などはできません。

※救急車利用の場合の帰りの手段は各自で手配してください。

◎伊賀市救急・健康相談ダイヤル 24

☎ 0120-4199-22

※通話料・相談料は無料です。

◎三重県救急医療情報センター

☎ 059-229-1199

受診できる医療機関をご案内（24 時間）

伊賀市の人口・世帯数
令和 4 年 7 月 31 日現在
○総数 87,692 人 ○世帯数 40,570 世帯
○男 43,085 人 ○女 44,607 人

広報いがをスマホでチェック



カタログポケット

